

東北地区大学図書館協議会誌

第 58 号
平成 19 年 4 月



宮城大学総合情報センター
(大和キャンパス)

加盟館一覧

山形大学附属図書館の紅花プロジェクト - 「紅花の歴史文化館」誕生記一

表紙裏面

山形大学紅花プロジェクト実施ワーキンググループ 1

第 61 回東北地区大学図書館協議会総会 11

日 程 11

総会資料 12

総会議事要録 27

参加者名簿 34

図書館統計年報 37

協議会総会会場一覧 40

東北地区大学図書館協議会役員館一覧 41

東北地区大学図書館協議会防災連絡網設置要項（国立部会、公立部会） 42

東北地区大学図書館間相互利用手続き申し合わせ 44

東北地区大学図書館協議会会則等 45

加盟館職員名簿 50

東北地区大学図書館協議会加盟館一覧

(国 立 15 館)			
弘前大学附属図書館	036-8560	弘前市文京町1	(017)39-3155
岩手大学情報メディアセンター図書館	020-8550	盛岡市上田3-18-8	(019)621-6082
東北大学附属図書館	980-8576	仙台市青葉区川内27-1	(022)795-5911
同 医 学 分 館	980-8575	仙台市青葉区星陵町1-1	(022)717-7973
同 北 青 葉 山 分 館	980-8578	仙台市青葉区荒巻字青葉6-3	(022)795-6368
同 工 学 分 館	980-8579	仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-03	(022)795-5892
同 農 学 分 館	981-8555	仙台市青葉区堤通雨宮町1-1	(022)717-8882
宮城教育大学附属図書館	980-0845	仙台市青葉区荒巻字青葉149	(022)214-3347
秋田大学附属図書館	010-8502	秋田市手形学園町1-1	(018)889-2273
同 医 学 部 分 館	010-8543	秋田市本道1-1-1	(018)884-6052
山形大学附属図書館	990-8560	山形市小白川町1-4-12	(023)628-4904
同 医 学 部 分 館	990-9585	山形市飯田西2-2-2	(023)628-5054
同 工 学 部 分 館	992-8510	米沢市城南4-3-16	(0238)26-3019
同 農 学 部 分 館	997-8555	鶴岡市若葉町1-23	(0235)28-2810
福島大学附属図書館	960-1293	福島市金谷川1	(024)548-8083
(公 立 12 館)			
青森公立大学図書館	030-0196	青森市大字合子沢字山崎153-4	(017)764-1552
青森県立保健大学附属図書館	030-8505	青森市大字浜館字間瀬58-1	(017)765-2011
岩手県立大学メディアセンター	020-0193	岩手県岩手郡滝沢村滝沢字巣子152-52	(019)694-2070
宮城大学総合情報センター	981-3298	宮城県黒川郡大和町学苑1	(022)377-8313
秋田県立大学図書・情報センター	010-0195	秋田市下新城中野字街道端西241-438	(018)872-1561
秋田公立美術工芸短期大学附属図書館	010-1632	秋田市新屋大川町12-3	(018)888-8106
国際教養大学図書・情報センター	010-1211	秋田市雄和椿川字奥椿岱193-2	(018)886-5907
山形県立保健医療大学附属図書館	990-2212	山形市上柳260	(023)686-6671
山形県立米沢女子短期大学附属図書館	992-0025	米沢市通町6-15-1	(0238)22-7334
会津大学情報センター附属図書館	965-8580	会津若松市一箕町鶴賀字上居合90	(0242)37-2545
会津大学短期大学部附属図書館	965-8570	会津若松市一箕町大字八幡字門田1-1	(0242)37-2458
公立大学法人福島県立医科大学附属学術情報センター	960-1297	福島市光が丘1	(024)547-1111
(私 立 34 館)			
青森大学・青森短期大学附属図書館	030-0943	青森市幸畠2-3-1	(017)738-2001
東北女子大学附属図書館	036-8530	弘前市大字豊原1-2-1	(0172)33-2289
八戸大学・八戸短期大学図書館	031-8588	八戸市大字美保野13-98	(0178)30-1695
八戸工業大学図書館	031-8501	八戸市大字妙字大開88-1	(0178)25-8032
弘前学院大学附属図書館	036-8577	弘前市稔町13-1	(0172)34-5211
岩手医科大学附属図書館	020-8505	盛岡市内丸19-1	(019)651-5111
富士大学図書館	025-8501	花巻市下根子450-3	(0198)22-4986
盛岡大学大学図書館	020-0183	岩手県岩手郡滝沢村滝沢字砂込808	(019)688-5561
修紅短期大学図書館	021-0902	一関市竹際49-1	(0191)24-2211
岩手看護短期大学図書館	020-0151	岩手県岩手郡滝沢村大金字千ヶ窪14-1	(019)687-3864
仙台大学附属図書館	989-1693	宮城県柴田郡柴田町船岡南2-2-18	(0224)55-1399
仙台百合女子大学図書館	981-3107	仙台市泉区本田町6-1	(022)374-5090
石巻専修大学図書館	986-8580	石巻市南境新水戸1	(0225)22-7718
東北学院大学中央図書館	980-8511	仙台市青葉区土樋1-3-1	(022)264-6491
同 多賀城キャンパス図書館	985-8537	多賀城市中央1-13-1	(022)368-1206
同 泉キャンパス図書館	981-3193	仙台市泉区天神沢2-1-1	(022)375-1174
東北工业大学附属図書館	982-8577	仙台市太白区八木山香澄町35-1	(022)305-3177
東北福祉大学図書館	981-8522	仙台市青葉区国見1-8-1	(022)717-3319
東北文化学園大学総合情報センター図書館	981-8551	仙台市青葉区国見6-45-1	(022)233-3878
東北薬科大学附属図書館	981-8558	仙台市青葉区小松島4-4-1	(022)727-0061
宮城学院女子大学図書館	981-8557	仙台市青葉区桜が丘9-1-1	(022)279-5658
尚絅学院大学図書館	981-1295	名取市ゆりが丘4-10-1	(022)381-3439
聖和学園短期大学図書館	981-3213	仙台市泉区南中山5丁目5-2	(022)376-8257
ノースアジア大学附属図書館	010-8515	秋田市下北手桜字守沢46-1	(018)836-2405
東北芸術工科大学図書館	990-9530	山形市大字上桜田3-4-5	(023)627-2044
羽陽学園短期大学附属図書館	994-0065	天童市大字清池1559	(023)655-2385
山形短期大学附属図書館	990-2316	山形市片谷地515	(023)688-7544
いわき明星大学図書館	970-8551	いわき市中央台飯野5-5-1	(0246)29-7121
奥羽大学図書館	963-8611	郡山市富田町三角堂31-1	(024)932-8931
郡山女子大学図書館	963-8503	郡山市開成3-25-2	(024)932-4848
(昌平図書館)東日本国際大学・いわき短期大学	970-8567	いわき市平鎌田字寿金沢37	(0246)35-0416
日本大学工学部図書館	963-8642	郡山市田村町徳定字中河原1	(024)956-8876
桜の聖母短期大学図書館情報センター	960-8585	福島市花園町6-3	(024)534-7137
福島学院大学図書館情報センター	960-0181	福島市宮代乳児池1-1	(024)553-2087

第61回東北地区大学図書館協議会



宮城大学 馬渡 学長



宮城大学 久恒 総合情報センター長



東北大學 野家 館長



議長団



第61回総会風景



国立部会風景



公立部会風景



私立部会風景

山形大学附属図書館の紅花プロジェクト

－「紅花の歴史文化館」誕生記－

山形大学紅花プロジェクト実施ワーキンググループ

山形大学附属図書館が中心となって、学内プロジェクトとして、平成16年度から2カ年計画で実施した、紅花ポータル製作プロジェクトの経緯と成果について報告する。

I. 「1学部・部門1プロジェクト」

山形大学では、第1期中期計画として、「独創的・萌芽的研究テーマ（教育内容も含む。）を公募し、1学部（1部門）1件の採択・推進を図る。」と掲げている。

この「1学部・部門1プロジェクト」は、仙道富士郎学長のリーダーシップにより、『各部局等が教育・研究及び社会貢献活動に関して、現在取り組んでいるもの又は予定しているもののうち、他大学には見られない独創的又は先進的な取組みを全学で支援・推進し、本学の中期計画の達成を図ることを目的としたもの。』

という方針で、平成16年度から開始された。（注1）

1. 附属図書館のプロジェクト

平成16年6月末に、「1学部・部門1プロジェクト」として全学への公募があったため、山形大学附属図書館は、同附属博物館（注2）と共に、社会貢献を目的としたプロジェクト「紅花の歴史文化と地域学術資料のデータベース化及び情報発信」（通称「紅花プロジェクト」）を大学に申請した。

2. 概要及び目的

「紅花プロジェクト」は、2カ年計画とし、以下の目的・計画のもとに推進することにした。（以下、初年度の計画調書より抜粋。）

(1) 概要

紅花は山形県の県花であり、山形の歴史文化を語る

際に欠かせない存在である。

紅花は、江戸時代に最上（現在の山形県村山地方）の商品作物として栽培され、「最上千駄」のことばのとおり、最盛期には全国の生産量の50%以上を占めていた。（紅花1駄は120kgで、約50両、米100俵の価値があったといわれている。）

初夏の早朝に摘み取られた紅花はただちに煎餅状の紅花餅（はなもち）に加工され、最上川河岸の荷問屋

まで馬で運び、川舟で酒田へ下り、酒田で北前船に積み替え、敦賀の湊を経て京都・大阪に運ばれた。紅花の花弁に含まれる色素は、化学染料のない当時、友禅染、口紅、顔料、葉に珍重され、上方文化の興隆を支えた。紅花を京都に運んだ船は、返り荷として生活必需品をはじめ多くの上方文化を最上にもたらした。このように、山形は東北と上方との中継商業の「商都」

として繁栄し、全国各地との関係をもとに独特の地域文化が形成された。

附属図書館と附属博物館が所蔵する紅花文書をあわせるとその量は東北有数の地方文書群となり、紅花関係文書群としては日本一の質量を誇る。両館は共同して県内外の大学・関係機関と連携をはかり、歴史学・経済学・民俗学・芸術学・植物学・染色工学などの多角的な視点から紅花関係の古文書や美術品、標本を調査研究し、本県の歴史文化や地域特性の形成に関する資料情報の蓄積及び提供を計画する。

(2) 実施計画

両館所蔵資料のデータベース化及び情報発信、県内外の紅花関係文書の調査、両館所蔵未整理古文書の目録作成を行う。次年度に関係機関共同でシンポジウムを行う準備を進める。



図1 「紅花の歴史文化館」トップページ

(3) 期待される効果

山形大学を山形の歴史文化と地域特性の形成に関する情報センターとしてアピールする。山形大学が所蔵する東北有数の地方文書コレクションの価値を高め、地域研究者・市民による利用を活発化する。自治体や関係機関と連携し、地域文化の研究や町おこし・観光資源情報の開拓と蓄積を行い、それらの情報発信機関として附属図書館・附属博物館の機能を充実する。

3. 学内審査

学長と理事（5名）からなる審査委員会を経て、平成16年7月30日に「紅花プロジェクト」は2カ年計画（平成16年8月～平成18年3月）として採択され、初年度は3,000千円の事業費の配分を得た。（注3）

4. プロジェクトの実施体制

附属図書館長をプロジェクト代表者とし、実質的な検討・作業は、当初「附属図書館・附属博物館共同研究プロジェクト実施ワーキンググループ」（事業指導：岩田浩太郎・人文学部教授）で、準備も含めて平成16年6月からスタートした。メンバーは岩田教授のほか、附属図書館職員2名、附属博物館職員（学芸員資格を持つ）1名の計4名。その後、岩田教授にかわり、横山昭男・教育学部名誉教授の指導を仰ぐことになり、附属図書館職員の交替もあったが、2年目は附属図書館職員4名をメンバーとしたワーキンググループで作業を継続した。（注4）

附属博物館との共同は、「紅花プロジェクト」を企画・実施するうえで極めて大きな拠り所となった。附属博物館に地域史料として貴重な紅花関係資料・標本が所蔵されていることはもとより、「紅花プロジェクト」の電子資料館「紅花の歴史文化館」の主要なコンテンツとなつた美術品等資料情報を、附属博物館職員のアドバイスや県内における博物館・美術館ネットワークを活用することなく入手することは困難であったからである。

II. 「紅花プロジェクト」の成果

1. 平成16年度の作業

2年計画の初年度である平成16年度（平成16年8月～平成17年3月）には、「多角的な視点から紅花関係の古文書や標本資料を調査研究し、山形県の歴史文化や地域特性の形成に関する資料情報の電子的な蓄積と提供を目的とし、これに基づいて日本の近世史等の教育研究や総合学習及び生涯学習に貢献することとした。

また、以下の3点を柱として作業を行った。

- ・附属図書館及び附属博物館の所蔵資料と山形県内の紅花関係情報の調査と電子化
- ・紅花関係資料をわかりやすい解説と共に情報発信する電子資料館「紅花の歴史文化館」の開設
- ・附属図書館及び附属博物館所蔵の未整理古文書の整理・目録化

その結果、平成16年度の具体的な成果として以下のことを実現した。

(1) 紅花関係資料の調査と電子化

- ・紅花関係資料の調査 10カ所
(山形県立図書館、山形県立博物館、山形美術館、山寺芭蕉記念館、河北町立中央図書館ほか。)
- ・紅花関係資料のデータベース化 8,908点
(文書、写真、標本、文献、動画、目録データ。)

(2) 附属図書館及び附属博物館所蔵の古文書の整理・目録化 6,356点

- ・二藤部文書 5,470点 (附属図書館)
- ・小嶋家文書 886点 (附属博物館)

(3) 「紅花の歴史文化館」の開設

平成16年10月に、山形大学附属図書館内の電子図書館サーバに、以下のコンテンツ及び検索システムを有する「紅花の歴史文化館」（URL：<http://www.lib.yamagata-u.ac.jp/benibana/>）のプロトタイプを作成し、平成17年4月18日に公開した。（図1）（注5）

- ・電子コンテンツ
古文書画像、図書・雑誌全文、美術品・標本、写真、映像資料
- ・検索システム
古文書、文献
- ・リンク集、紅花の豆知識、関係機関等一覧、サイトマップ

(4) 山形県内の関連機関との連携による充実したコンテンツの提供

- ・「紅花屏風」の高精細画像化
山形県の指定有形文化財である紅花屏風2点を、ZOOMA（注6）いう表示用ソフトウェアを導入することにより、利用者がストレスなく画像の拡大・縮小・位置移動などのブラウジングが自由にできるようにした。
- ・古文書画像
附属図書館所蔵伊勢屋源助家文書のうちの紅花関係文書108点の電子画像化を行った。（図2）

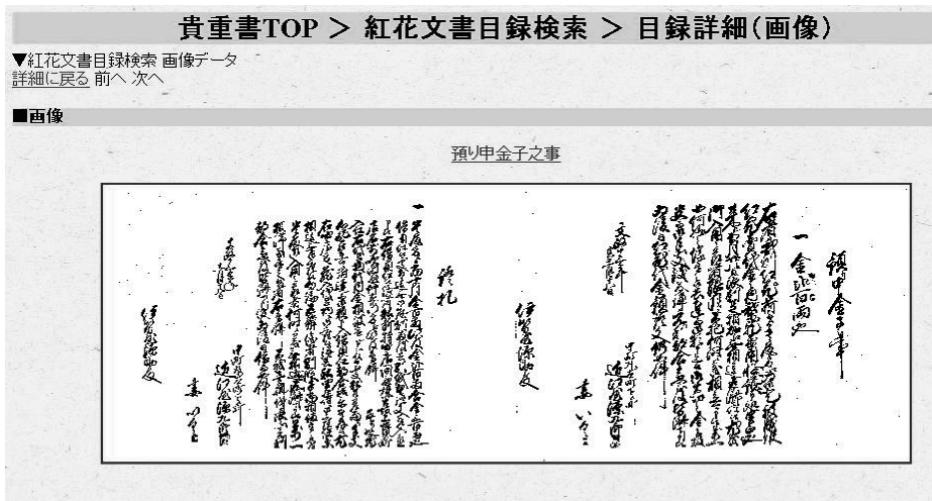


図2 伊勢屋源助家文書

検索キーワード:	[すべて] 山形 AND [書誌の種類] 雑誌論文	件数:
1.	【雑誌論文】渡辺徳太郎「山形市商業の思い出ー奥羽の商権把握から両銀の創立までー」・『山形公論』5巻3号, 1929	350件中1
2.	【雑誌論文】五十嵐清蔵「最上川と郷土文化」11・『山形県図書館協会報』2, 1936	
3.	【雑誌論文】渡辺徳太郎「紅花の話」・『山形県文化時報』17 (山形県図書館協会, 1937)	
4.	【雑誌論文】今田信一「最上川と谷地町の今昔」・『羽陽文化』1(3) (山形縣文化遺産保存協會, 1949)	
5.	【雑誌論文】金田二郎「最上の紅花」・『農業山形』2(8), 1951	
6.	【雑誌論文】「紅花と蟬の声ー創作的史的にー」・『山形教育』38号, 1952	
7.	【雑誌論文】鈴木清助「紅花の保存について」・『羽陽文化』18号 紅花特輯号 (山形縣文化遺産保存協會, 1953)	
8.	【雑誌論文】「最上紅花放談」・『羽陽文化』18号 紅花特輯号 (山形縣文化遺産保存協會, 1953)	
9.	【雑誌論文】佐藤正巳「紅花雜感」・『羽陽文化』18号 紅花特輯号 (山形縣文化遺産保存協會, 1953)	
10.	【雑誌論文】川崎浩良「紅花雜考」・『羽陽文化』18号 紅花特輯号 (山形縣文化遺産保存協會, 1953)	

図3 紅花文献目録検索ページ

・紅花関係古文書目録・文献目録（図3）
伊勢屋源助家文書目録データ、二藤部文書目録データ（県立博物館所蔵分を含む）、山形県立図書館の山形県関係文献目録及び河北町立中央図書館紅花関係図書データの網羅的な検索を可能にした。

以上の作業により、各機関に分散している資料の横断的閲覧が可能となった。

2. 平成 17 年度の作業

計画の最終年度である平成 17 年度（平成 17 年 10 月～平成 18 年 3 月）には、前年度を上回る 3,300 千円の事業費の配分を受けた。この金額は、全学で採択されたプロジェクト 12 件中で 4 番目であった。（最高額 4,000 千円、

最低額 500 千円）

平成 17 年度は以下の点を柱として作業を行った。

- ・平成 16 年度に構築した電子資料館「紅花の歴史文化館」の電子コンテンツを一層整備・充実する。
- ・本学の貴重な史料である紅花関係古文書について、劣化防止及び良好な保存のため、中性紙箱への保管を行う。
- ・本年度を当プロジェクトの完成年度と位置づけ、今後の社会連携の基盤とする。

平成 17 年度には、具体的に以下のような作業の成果があった。

(1) コンテンツの拡充

地域の生涯学習や総合学習に必須の紅花関係古文書・文献のほとんどは、一般的に閲覧や入手が難しい。本学名誉教授・横山昭男先生（歴史学）の指導のもと、基本的な史料・文献の選定を行い、著作権者の了解を得て、それらの電子画像をホームページから容易に閲覧・印刷できるようにした。

①附属図書館所蔵古文書の電子化

山形・大石田の代表的な舟持荷問屋である二藤部兵右衛門家の文書をはじめ、紅花の商取引、流通、村山地方の近世史研究に不可欠な以下の資料を電子化した。（表1）

表1 電子化した附属図書館所蔵古文書

文書名	点数	枚数
井山喜八家文書	2	6
二藤部文書	12	39
伊勢屋源助家文書	3	3
計	17	48

②紅花絵巻・最上川関係屏風等の高精細画像による電子化

昨年度に画像化した「紅花屏風」2点と並んで、代表的な紅花の芸術・民俗史料である青山永耕筆（一説）の「紅花絵巻」（個人所蔵、長さ775cm）の撮影

フィルムを使って高精細画像化し、ZOOMAで鑑賞できるようにした。（図4）。（注7）

また、古泉斎筆「松川舟運図（まつかわしゅううんづ）屏風」（宮坂考古館所蔵）及び「最上川谷地押切渡より柏沢迄絵図（もがみがわやちおしきりわたしよりかしわざわまでえず）（部分）」（致道博物館所蔵）についても、紅花の流通経路としての最上川の舟運史を考察するうえで欠かせない史料であるため、フィルムから高精細画像を作成し細部まで鑑賞できるようにした。

③研究論文、目録等の電子化

紅花史研究上の必読書である今田信一著「最上紅花史の研究」（図5）や、「最上紅花史料 1～3」（河北町刊）、山形県関係研究機関等の紅花研究の基本となる文献情報を、歴史・文化・経済・染色・医学・植物学等の各分野から選択し、電子化した。

また、今田信一氏の旧蔵書目録「藻鯨亭（そうねんてい）文庫目録」（河北町立中央図書館刊）についても同様に電子画像化し、「紅花の歴史文化館」で閲覧できるようにした。

平成16年度分と合わせて図書19点、雑誌論文44点、計63点を掲載した。（表2）

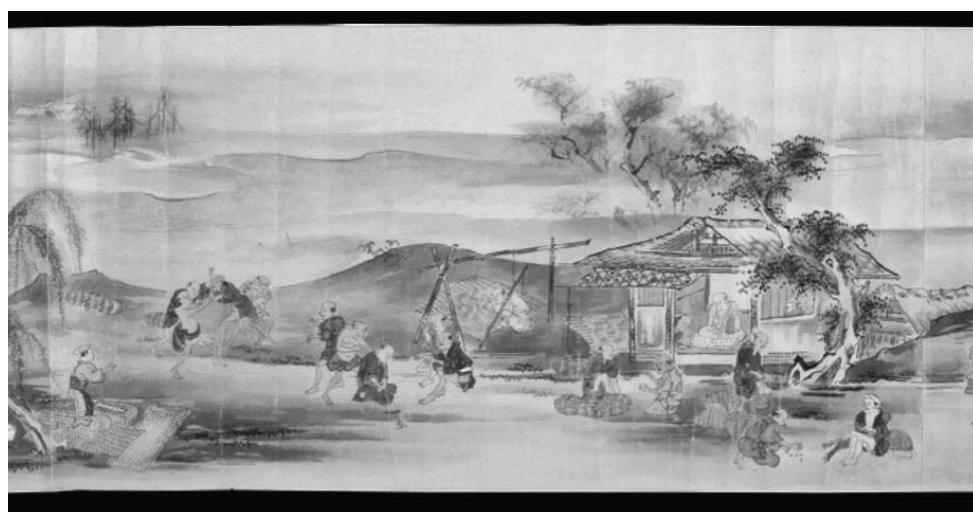


図4 紅花絵巻

表2 平成17年度掲載図書・雑誌論文画像

点数	60点	(図書 18 雜誌論文 42)
ページ数	5,888ページ	(モノクロ 5,790 カラー 98)

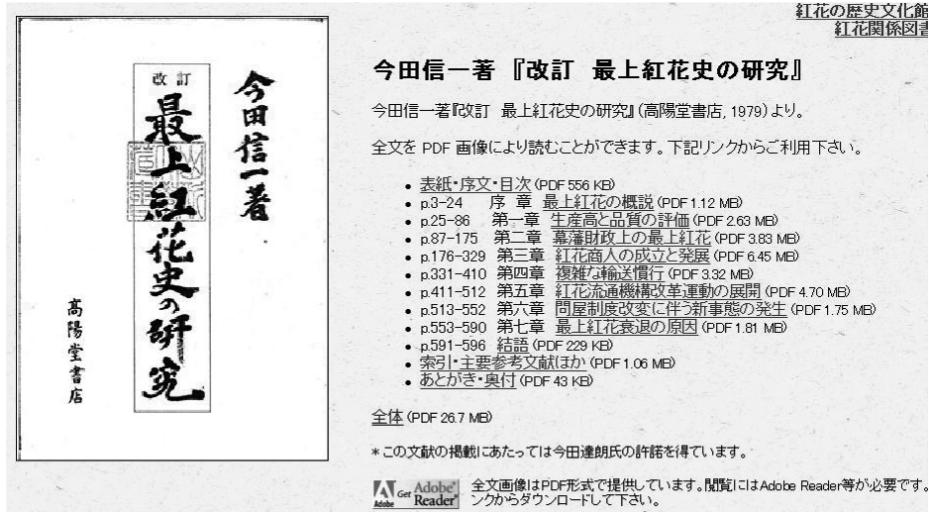


図5 紅花関係図書ページ



図6 紅花関係写真ページ

④その他

- ・紅花関係写真等資料に370点追加し、497点とした。(図6)
- ・従来は学内限定配信であった既存の映像資料を、本学学術情報基盤センターの協力を得て、学外に配信した。

また、教育映画「紅花はいまー山形ー」(東北電力・東北映画制作、上映時間30分)を新たにストリーミング配信した。

- ・紅花観光情報である、「紅花探訪 山形県村山地方紅花 MAP」(山形県村山総合支庁発行)を高精細画像で掲載した。

(2) システムの改善

コンピュータ周辺機器及びソフトを整備して、作業時間の短縮、大量データ処理、目録データ更新の自動化、「紅花の歴史文化館」の利便性を高めるための作業

を行った。

(3) 紅花関係資料の収集・保存・利活用

本学未所蔵の紅花関係図書を収集するとともに、附属図書館所蔵の紅花関係古文書の適正な保存体制を整備した。

①紅花関係図書等の購入

「紅花読本」一粒社刊ほか本学未所蔵の紅花関係図書等を20点(21冊)購入し、紅花関係調査等の便を図った。

②所蔵古文書のマイクロ化

附属図書館所蔵古文書のうち、紅花に密接に関わりのある「山城国京都松下町最上屋井山喜八家文書」をマイクロフィルム化することにより、原史料の保存とマイクロ資料での利活用を図るため、国文学研究資料館・史料館に所蔵されている同文書マイクロフィルムの複製を作成した。(30リール、1万9604

コマ)

(3) 紅花関係古文書の保存対策

二藤部文書ほか古文書・和装本を収納する中性紙箱を購入し、酸化や劣化を最小限に抑えるための保管体制を整えた。

(4) 資料調査及びデータ入力

紅花に関する資料情報を網羅的に調査し文献データベースに集積した。

平成17年度末総件数、1,550件。

(5) 資料の解説作成

「紅花絵巻」、「松川舟運図屏風」、「最上川谷地押切渡より柏沢迄絵図（部分）」に平易な解説をつけた。

(6) 古文書リストのデータ入力

二藤部文書検索用データとして、文書リストから3,595点入力した。

また、目録未入力分として、二藤部文書目録手書き分161点と、山形市内の大商家・小嶋家の文書（附属博物館所蔵）1,047点（手書き分61点含む）も併せて入力した。

これにより、二藤部文書の全点（8,947点）を含め、計11,795点の所蔵情報を簡易に調べることができるようになり、村山地方等の近世経済史の研究支援環境が改善された。

(7) 伊勢屋源助家文書の読み下し文作成

学生や一般市民が古文書を理解するための参考情報

として、文書108点（521枚）の読み下し文の作成を行った。古文書の原文画像と対比することで生涯学習等に活用されることが期待できる。

(8) 総合学習の事例ページ

紅花に関わる総合学習は、児童が地元の農家などとともに栽培や紅餅作り、染色を体験することにより、地域の自然や歴史を学ぶという点で大きな意味を含んでおり、これらの事例を紹介することにした。

なかでも、山形市立滝山小学校児童の個人新聞を電子画像化し掲載できたことは、大学図書館と小学校の連携という意味で貴重な例であった。（図7）

(9) その他

当プロジェクトは、平成17年度中にワーキンググループによる13回に及ぶ協議を重ねて実施した。

当プロジェクト初年度で「紅花の歴史文化館」の基本形ができていたために、その後の資料提供及びコンテンツ掲載許諾等の作業は比較的容易に行うことができた。とはいっても、掲載を断られた機関等もあり、著作権あるいはプライバシーの問題については、慎重になるとともに、当プロジェクトにおいてもっと多くの期間と労力を費やした。

また、システムの基本的な機能は変えることなく、情報の鮮度を常に意識して9月末から月平均10回のペースでコンテンツを更新した。

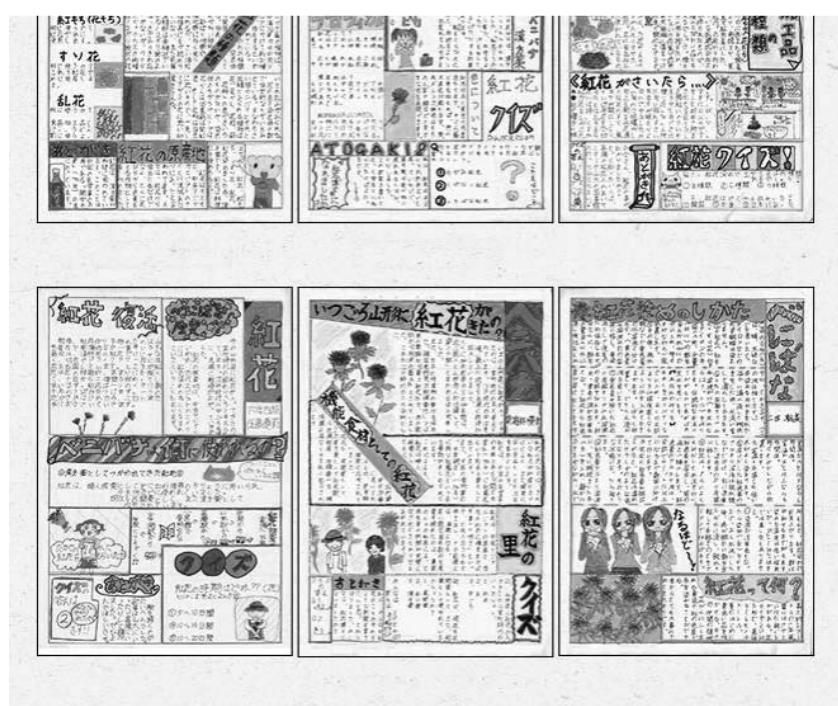


図7 小学生の個人新聞

3. 平成 18 年度の作業

当プロジェクトの予定計画年度を終了後も、通常業務の一環として現在までに以下の作業を行った。

(1) 紅花インデックス検索ページの作成

紅花に関するキーワードから、文献の該当ページを知るためのインデックス検索ページを設けた。本データベースに本文を掲載している文献については、章レベルでのリンクを張った。ただし、キーワード表示箇所に直接リンクするよう改善の余地がある。

平成 18 年末現在、文献数 31 件、キーワード数 1,905 件。

(2) 「紅花の道を探る」ページの作成

「紅花関係写真等資料」のなかに、全国で初めて紅花に限って原産地の調査を行った、山形新聞・山形放送の八大事業の一つ「紅花の道を探る」の海外調査レポートを、当時の新聞記事などを参考に作成した。

(3) 「ベニバナたんけんたい」ページの作成

「総合学習の事例」のなかに、小学校低学年用の紅花紹介文を作成した。

(4) 古文書関係解説の整備

「紅花文書目録検索」のなかに、二藤部兵右衛門家の解説を作成、小嶋源右衛門家文書の解説を電子化した。

(5) 掲載論文の HTML 化

掲載済みの PDF 版英文論文、和文論文それぞれ 1 点ずつ、HTML 版を作成した。

(6) 文献データの更新

平成 19 年 1 月末の総件数、2,150 件 (17 年度末以降、600 件増)

III. コンテンツの掲載許諾作業について

「紅花の歴史文化館」の大きな特色の一つは、ウェブ上で提供しているコンテンツのほとんどが、他機関あるいは個人の著作物や所蔵品を電子化したものであることである。これは、紅花関係の資料が村山地方を中心に全県下に散在していること、また、「紅花プロジェクト」の当初の目的が社会貢献として県内外の大学・関係機関と連携をはかるということから必然であった。

自館の所蔵資料を電子化するのと異なり、電子化するための原資料、あるいはその複製物の借用と、電子化してホームページに掲載するうえでの承諾を得ることに、予想以上の期間と労力を要したので参考までに紹介したい。(注 8)

「紅花の歴史文化館」の「プロジェクト協力機関等一

覧」をご覧いただくとおわかりのように、交渉相手は多種多様であった。

交渉相手一人または 1 機関を 1 件とすると、

許諾依頼件数	52 件
許諾件数	49(内数)
個人	14(")
県外	15(")

掲載許諾の一般的な手順としては、

- (1) 事前に電話・メール等で内諾を得る。
- (2) 附属図書館長名で依頼文書(掲載許可書の書式同封)を送る。
- (3) 掲載許可書を返送していただいたら、必要に応じて写真等を拝借に伺い、預かり証を渡す。
- (4) 電子化後に写真等を返却する。
- (5) 掲載後に礼状等で連絡する。

という手順により、許諾作業を進めていった。

1. 掲載許諾作業の事例

この作業には、2 年間を通じて図書館職員 1 名がほぼ専任で当たった。

平成 17 年度の場合、上記の作業に要した期間は通算(正月をはさんで) 5 カ月間であった。最も時間がかかったケースとして、依頼文書を送付してから 3 カ月半を要した例もある。

参考までに主な事例をあげる。

(1) 「紅花屏風」等の美術品の場合

「紅花の歴史文化館」の華である「紅花屏風」2 点は、それぞれの所蔵館から撮影フィルムを拝借した。

「紅花絵巻」は個人所蔵であるが、所蔵者がたまたま元山形大学職員ということもあり掲載許諾は容易に運んだ。ただ、撮影フィルムについてはいくつかの機関に打診したが完全なものが得られず、独自に撮影するかあきらめるか、という時点で山形市内の最上義光歴史館が持っていることがわかり、なんとか入手できた。(注 9)

直接の交渉は図書館職員が行ったが、有形無形に附属博物館の力を借りた。撮影フィルムの入手は比較的に順調にいったが、むしろ高精細画像を提供するための技術的問題や、ZOOMA 化も含めた外注経費の問題に頭を悩ませた。最終的には、ZOOMA の期間限定使用権を購入して、フィルムのスキャニングから ZOOMA 化まで全ての工程を自前で行うこととした。

「松川舟運図屏風」は、所蔵者の宮坂考古館が博館

法上の施設ではあったが、館長が農家と兼業のため、連絡も含めて作業に手間取った。(注 10)

また、「松川舟運図屏風」の撮影フィルムは、所蔵品カタログを作成する目的で撮影したものであるため、精度に難があるという意見も出たが、横山昭男先生の判断を仰いで掲載することにした。

「最上川谷地押切渡より柏沢迄絵図」の所蔵館（致道博物館）は、鶴岡市（山形市から北西に 100 キロ）にあるが、学芸員のはからいで郵送でお借りすることができた。ただし、資料の全体を掲載する旨お願いしたのだが、許可をいただけず、部分掲載にとどまったことは残念であった。

(2) 図書・雑誌論文の場合

平成 16 年度は、山形大学農学部名誉教授の渡部俊三先生の著書・論文を主体に電子化したので、許諾作業の労という点ではそれ程苦労しなかった。

平成 17 年度は、当初 83 点の文献を電子化する予定であったが、最終的には 60 点の電子化にとどまった。これは、横山昭男先生との打ち合わせの結果、一定水準以下の文献を除外したことや、掲載許諾を依頼したが断られたためである。

掲載許諾依頼したが、許可されなかった理由は三つある。

- ・著者及び当家のプライバシーに抵触する。
- ・出版者あるいは所蔵者側に著作権に関する規定がない。
- ・当該著作物を現在販売中である。

当プロジェクトの趣旨に賛同しつつも、ウェブ上で公開となると慎重になる傾向が見られた。

最終的に著者の許諾が得られたにも関わらず出版者の許諾が得られなかつたために、職員が独自に原文献を OCR で読み、テキストとして校正した後、HTML で再構成したものもある。

図書・雑誌論文データの大半は、河北町（雛とべに花の里）が関わるものであった。さらに、資料によって同町役場と同町教育委員会とに所管が分かれたので、それぞれの担当部署に出向いて趣旨説明をした。なお、対象資料のなかには、現在販売中のものも含まれていたが、河北町には電子化を快諾していただいた。(注 11)

その他、資料の中には既に著者が亡くなつており、遺族を捜し出して依頼したり、出版者のなかにも數十年前に廃業して連絡がつかないケースがあり、許諾確認作業の大変さをつくづく実感した。

(3) 映像資料の場合

山形県デジタルコンテンツ利用促進協議会から購入したもの 4 点（8 番組）のほかに、東北電力株式会社から提供していただいたものがある。同社が無償で貸出サービスを行っている教育映画の一つ「紅花はいま－山形－」は約 30 年前の作品ではあるが、紅花の芸術文化等を継承しようとする先人の苦労や意欲が伝わってくる秀作であり、特に県内の青少年に広く見てもらいたいことを東北電力の担当者にお話しし、制作会社の了解も得て、借用した VHS テープから図書館でデジタル変換したものである。(注 12)

(4) 「総合学習の事例」の場合

小中学生向けの情報提供、特に総合的学習の時間に参考になる情報ということで検討を進めた。(注 13)

「総合学習の事例」の個人新聞の掲載は、ある小学生からの一本の電話から始まった。平成 17 年 12 月某日、担当者に電話をしてきたのは山形市立滝山小学校 6 年の女子児童であった。「紅花のことを調べたいので図書館を利用させてほしい。」とのこと。数日後に児童数人が来館し資料を調べていった。年が明けて担当教諭と連絡をとり、調査の成果物として「個人新聞」を作ったことを知り、掲載許可をお願いした。個人新聞 6 枚は館内のスキャナーで電子化した。調査や発表会の写真の提供も、担当教諭を通して校長の許可をいただいた。

IV. まとめ

1. これからの課題

- (1) コンテンツが充実したことにより、研究者のみならず山形県の歴史・文化を学ぶ人々の生涯学習等に活用される環境が整つたといえる。今後は、研究・学習の現場と連携して、さらにコンテンツの充実と利便性を高める必要がある。
- (2) 山形県工業技術センターでは、平成 18 年度から紅花振興のための研究・製品開発プロジェクトを実施しており、本学工学部物質工学科とも連携している。こうした動きに対応し、将来に向けて紅花の有用性を高めていくためのバックアップ、さらには、世界に向けての広報を行う体制を備える必要があり、附属図書館の基幹的業務とのバランスで考慮する必要がある。
- (3) 滝山小学校の事例でもわかるように、「紅花の歴史文化館」という電子的な枠組みを超えて、大学が活用され、大きな教育効果を發揮することができる。今後は、市内高等学校も含めた学習活動の窓口となるよう

連携を深めていき、学習の場としての本学図書館施設・サービスの活用を定着させていく必要がある。

(4) ウェブ上での紅花百科事典(仮称)の構築については、現在掲載されている文献原文情報のテキスト化など、今後の利用の動向や利用者の要望を踏まえて、別途予算措置するなどして対応する必要がある。

2. 最後に

紅花プロジェクトは、当初から学内外の好意的な評価や期待を受けながら推進することができた。(注14)

内容的にも最終年度で大幅なコンテンツの充実がなされ、使い勝手も向上した。今や、紅花の情報源（ウェブサイト）としては世界屈指となり、月平均700件以上（最大約900件）のアクセスがあるとともに、「紅花の歴史文化館」公開後数ヶ月で具体的な活用事例も出てきている。本学農学部のOBであり、㈱フタバ中央研究所研究員渡邊毅巳氏からは、「食用、薬用、化粧品、飼料、切り花と多岐に渡る利用が可能なベニバナは、減反休耕田の転用作物の候補にもなりうるのでないか。価値ある植物ベニバナの研究の一翼を担うであろう『紅花の歴史文化館』の発展を期待する。」と、コメントをいただいたうえに、文献情報の提供もいただいている。

このように、当プロジェクトは単に紅花に関する文献を整理したり、電子画像化しただけでなく、その過程で約50の関係者・機関と友好的な繋がりを持った（「紅花の歴史文化館」プロジェクト協力機関等一覧参照）。実際に訪問した関係者・機関は約20箇所にのぼる。郷土を、紅花を愛するこの人的ネットワークを含めて、当プロジェクトの意義があるといえる。

今後、情報の発信と集約をさらに着実に積み重ねていきたいと考えている。

末筆ではあるが、当プロジェクトに快く協力してくださった河北町、東北大学附属図書館ほかの皆さんに深く感謝を申し上げる。

（文責：佐藤尚武）

注

(1) 従来の学長裁量経費の配分方法を見直し、部局からの公募により、各部局の企画力・提案の独創性等を客観的に審査することにより、予算額を決定するシステムである。

(2) 附属博物館は、附属図書館の施設内に置かれているほか、附属博物館の庶務を学術情報部学術情報ユニッ

ト（当時の名称は附属図書館情報管理課）が所掌するなど、日常的に緊密なつながりを有している。

(3) 審査委員会からは、「山形特産の紅花に関する歴史文化史料のデータベース化は、地域文化向上への貢献として大いに期待できる。」との評価をいただいた。

(4) 山形大学紅花プロジェクト実施ワーキンググループメンバー（五十音順）

・石山博子 平成16年6月～17年3月

（情報サービス課閲覧係長）

・加藤信哉 平成16年10月～17年3月

（情報管理課長）

・佐藤亜紀 平成17年9月～18年3月

（情報管理課目録情報係員、1月から工学部分館図書係員）

・佐藤尚武 平成16年6月～18年3月

（情報サービス課長）

・高橋加津美 平成16年6月～17年3月

（附属博物館係員）

・日出 弘 平成17年9月～18年3月

（情報管理課課長補佐）

・山田俊幸 平成16年10月～18年3月

（情報サービス課学術情報係員）

（事業指導：岩田浩太郎教授、横山昭男名誉教授）

(5) ソフトウェアは、オープンソースであるApache(Webサーバソフト)、MySQL(データベース管理システム)、PHP(データ処理プログラム)により構成し、検索システムとして東北大学附属図書館から「和算ポータル」プログラムの使用許諾を得て移植した。

(6) ZOOMA：ドリームテクノロジーズ社の製品。高解像度の画像データを画質を落とすことなくWeb配信することが可能で、PC側でも無段階で画像を拡大・縮小・スクロールさせて閲覧することができる。

(7) パソコン画面で美術品を鑑賞するのは邪道と知りつつ、できるだけ現物の色彩を再現するよう心がけた。紅花屏風などの撮影フィルム(屏風は一点につき6枚、絵巻は12枚に分割撮影されていた)をスキャナーで取り込み、電子画像にして接合したが、フィルムの変形、汚れ、傷、各フィルム間での色彩の違いへの対応などに時間を要した。

(8) 著作権法第83条によると、出版物の場合、「出版権は、出版後3年経過後に消滅する」とあるが、当プロジェクトでは、ウェブ上の公開ということもあり、念のため出版者の許諾もいただいた。

(9) 代表的な美術品である「紅花屏風」2点と「紅花絵

巻」は、山形美術館等で過去に何度か別々に展示されたことはあるが、3点が同時に展示されたのは「紅花の歴史文化館」が初となった。

(10) 休日に、山形市から南に約50キロ離れた米沢市まで職員が出向いて撮影フィルムをお借りした。

(11) 河北町教育委員会発行の「紅花資料館 よみがえる紅花（くれない）」については、現在英訳作業が進行中である。

(12) 映像データは、本学学術情報基盤センター米沢分室ストリーミングサーバに搭載してもらった。

(13) 地元の農家が協力して紅花学習を行っている山形市立出羽小学校の学習発表会を見学したことあった。

また、徳島県立総合教育センターで、紅花の児童向け

デジタル学習教材を作成する話があったが、結局実現に至らず、コンテンツに加えられなかつたのは残念であった。

(14) 学内の評価としては、学長から高い評価を受けたとともに、平成17年6月のプロジェクト成果報告会において評価担当理事から、「これまで紅花が山形文化の歴史的な一つの中心だったはずなので、色々な方がそれぞれの立場で研究を進めて来られたと思う。このデータベースができたことにより、研究面で大きく前進し、組織的研究が始まって、紅花研究の総体が見えてくるような研究に繋がればよい。山形大学としての発信を是非続けてもらいたい。」との講評をいただいた。

第 61 回東北地区大学図書館協議会総会日程

開催期日 平成 18 年 9 月 21 日 (木)

会場 ホテル白萩 錦の間

仙台市青葉区錦町 2-2-19 TEL 022-265-3411 FAX 022-265-3462

当番地区 宮城地区

当番館 宮城大学総合情報センター

日 程

1. 受付 12:30 ~ 13:00

2. 開会式 13:00 ~ 13:20 錦の間

(1) 開会の挨拶

当番館 宮城大学総合情報センター

センター長 久恒 啓一

(2) 歓迎のことば

当番大学 宮城大学

学長 馬渡 尚憲

(3) 挨拶

常任幹事館 東北大学附属図書館

館長 野家 啓一

3. 議長団選出

4. 総会

(1) 報告事項 13:20 ~ 13:40

- ① 平成 17 年度会務報告について
- ② 平成 17 年度一般報告及び各部会報告について
- ③ ウェブサイト開設WGからの報告について
- ④ フレッシュユーパーソンセミナーの開催報告について
- ⑤ 平成 17 年度決算報告について
- ⑥ 平成 17 年度記念事業基金決算報告について
- ⑦ 平成 17 年度会計監査報告について
- ⑧ その他

(2) 協議事項 13:40 ~ 14:10

- ① 新規加盟館について
- ② 平成 18 年度事業計画 (案) について
- ③ 平成 18 年度予算 (案) について
- ④ 平成 18 年度記念事業基金予算 (案) について
- ⑤ 第 62 回総会の当番地区 (館) について
- ⑥ 平成 18 年度合同研修会について
- ⑦ 東北地区大学図書館協議会学術奨励規程の改正について
- ⑧ 学術奨励賞候補論文等審査取扱要項の改正について
- ⑨ 東北地区大学図書館協議会表彰規程について
- ⑩ その他
 - ・国際シンポジウム開催の協賛について

(3) その他

5. 永年勤続表彰について

6. 部会 14:10 ~ 15:40

国立大学部会 牡丹の間

公立大学部会 菊の間

私立大学部会 けやきの間

< 休憩 10 分 >

7. 全体会議 15:50 ~ 16:50 錦の間

① 各部会からの報告

② 協議題等に関する質疑応答

8. 閉会式 16:50 ~ 17:00

(1) 次期当番館あいさつ

(2) 閉会のあいさつ

宮城大学総合情報センター

センター長 久恒 啓一

第61回総会資料

会務報告

(常任幹事館：東北大学附属図書館)

昨年9月青森大学・青森短期大学を当番館として開催された第60回総会以降の会務については、次ぎのとおりである。

1 平成17年度末加盟館数

本協議会の加盟館数は、第60回総会以降、新たな加盟館、退会館もありませんでしたので現在、国立15館、公立12館、私立33館計60館となっています。

2 平成17年度東北地区大学図書館協議会合同研修会実施状況

期　　日：平成18年7月27日（木）13時～17時

会　　場：東北芸術工科大学 本館 6階第1会議室
テ　ー　マ：地域との共生に向けて

基調講演：「地域の時代のなかで」

東北芸術工科大学大学院長・東北文化研究センター所長

赤坂 憲雄 氏

事例発表：

1) 「福島大学サテライト「街なかブランチ」におけるデリバリーサービス」

福島大学附属図書館情報サービス係長

南 俊二 氏

2) 「ビジネス支援情報コーナーの設置」

－創業による地域の活性化のために－

岩手大学情報メディアセンター図書館利用サービスグループ主査

田畠 由美子 氏

3) 「東北大学附属図書館における企画展の取り組み」

東北大学附属図書館情報管理課受入係

木戸浦 豊和 氏

参 加 者：国・公・私立大学等加盟27館から44名

3 会誌の発行

東北地区大学図書館協議会誌第57号を、平成18年6月に450部発行し、加盟60館及び関係機関等へ発送した。

4 幹事会について

① 平成18年7月24日（月）

（於：東北大学附属図書館）

(1) 第61回総会及び部会の議題等について

(2) その他

② 平成18年9月21日（木）開催

（於：ホテル白萩）

(1) 第61回総会及び部会の議題等について

(2) 各部会の進め方について

(3) その他

5 永年勤続表彰について

次の者（5名）を表彰該当者として、退職時に所属図書館を介して表彰状及び記念品の贈呈を行った。

元東北大学附属図書館情報管理課長

佐藤 正弘 氏

元東北大学附属図書館工学分館管理係員

早坂 幸子 氏

元秋田大学附属図書館利用サービス係長

濱谷 順子 氏

元福島県立医科大学附属図書館図書情報担当専門司書

鈴木 和子 氏

元山形大学附属図書館工学分館図書係員

菅原 敏子 氏

6 学術奨励賞について

本年度は候補論文の推薦がなかった。

7 記念事業基金の造成について

平成17年度通常会計から記念事業基金として、90,000円を繰り入れた。

8 平成17年度会計監査について

9月11日東北大学附属図書館において、会計監査館岩手県立大学及び東北福祉大学図書館による会計監査を受けた。

一般報告

— 国・公・私立大学図書館の動き —

(常任幹事館：東北大学附属図書館)

○会議等関係

1. 外国雑誌センター館会議について

2. 日本医学図書館協会総会について

3. その他

○研修・講習会等関係

1. 目録システム講習会

[図書コース]

期 間：第1回 平成18年5月24日（水）

～5月26日（金）

第2回 平成18年6月28日（水）

～6月30日（金）

第3回 平成18年8月23日（水）

～9月25日（金）

- 第4回 平成18年10月31日（水）
～11月2日（金）
- 第5回 平成18年12月13日（水）
～12月15日（金）
- [雑誌コース]
期 間：第1回 平成18年6月7日（水）
～6月9日（金）
- 第2回 平成18年8月2日（水）
～8月4日（金）
- 第3回 平成18年10月18日（水）
～10月20日（金）
- 場 所：国立情報学研究所
2. 目録システム地域講習会
[図書コース]
期 間：平成18年6月28日（水）
～6月30日（金）
- 場 所：東北大学附属図書館
- [雑誌コース]
期 間：平成18年7月19日（水）
～7月21日（金）
- 場 所：東北大学附属図書館
3. I L Lシステム講習会
期 間：第1回 平成18年5月18日（木）
～5月19日（金）
- 第2回 平成18年7月13日（木）
～7月14日（金）
- 第3回 平成18年11月16日（木）
～11月17日（金）
- 場 所：国立情報学研究所
4. 総合目録データベース研修
期 間：平成18年9月25日（月）
～10月6日（金）
- 場 所：国立情報学研究所
5. 学術ポータル担当者研修
期 間：平成18年7月26日（水）
～7月28日（金）
- 場 所：国立情報学研究所
6. 学術情報リテラシー教育担当者研修
期 間：平成18年11月8日（水）
～11月10日（金）
- 場 所：国立情報学研究所
7. 大学図書館職員講習会
期 間：平成18年11月14日（火）
～11月17日（金）
- 場 所：東京大学
8. 情報セキュリティ担当者研修
期 間：平成18年7月12日（水）
～7月14日（金）
- 場 所：外部会場を使用して開催する（東京都内）
9. ネットワークセキュリティ担当者研修
期 間：平成18年7月19日（水）
～7月21日（金）
- 場 所：外部会場を使用して開催する（東京都内）
10. ネットワーク管理担当者研修
期 間：平成18年7月5日（水）
～7月7日（金）
- 場 所：外部会場を使用して開催する（東京都内）
11. 平成18年度大学図書館職員長期研修
期 間：平成18年7月3日（月）
～7月14日（金）
- 場 所：筑波大学
12. 平成18年度漢籍整理長期研修
期 間：平成18年6月19日（月）
～9月8日（金）
- 場 所：東京大学大学院経済学研究科ほか
13. 平成18年度漢籍担当職員講習会（初級・中級）
期 間：初級 平成18年10月2日（月）
～10月6日（金）
- 中級 平成18年11月6日（月）
～11月10日（金）
- 場 所：京都大学人文科学研究所附属漢字情報研究センター
14. 第26回西洋社会科学古典資料講習会
期 間：平成18年11月7日（火）
～11月10日（金）
- 場 所：一橋大学佐野書院
15. 第7回「西洋古典資料保存講習会」
期 間：平成18年7月24日（月）
～7月26日（水）
- 場 所：一橋大学附属図書館

国立部会関係

（幹事館：東北大学）

○国立七大学附属図書館長会議

（平成17年9月29日京都大学）

協議事項

1. 図書館関係団体から日本学術会議への要望提出について

○国立七大学附属図書館部課長会議

(平成17年9月29日 京都大学)

協議事項

1. 法人化後の業務改善について
2. 国公私立大学図書館協力委員会の今後について
3. 図書館事務組織の一元化について
4. 幹部職員の養成と人事交流について
5. 附属図書館における財政基盤の確立の方策について
6. 目録所在情報サービス(NACSIS-CAT/ILL)の課題解決について
7. 学術情報基盤としての電子ジャーナルの利用促進について

○第79次国立七大学附属図書館協議会

(平成17年9月29日 京都大学)

協議事項

1. Elsevier社への対応について
2. 各大学における情報戦略構想と図書館に関わる議題について
3. 電子ジャーナルの経費確保とアーカイブについて
4. 法人化後の学術情報基盤について
5. 附属図書館における財政基盤の確立の方策について

○平成17年度国立大学図書館協会東北地区協会事務連絡会議

(平成17年11月28日 東北大学)

協議事項

1. 国立大学法人等職員採用図書系専門試験について
2. 平成18年度目録システム地域講習会図書コースの開催について
3. 附属図書館におけるICカード導入への対応について
4. 事務組織の再編成及び業務の見直しについて

○第37回東北地区国立大学図書館協会総会

(平成18年4月20日 東北大学)

協議事項

1. 法人化後2年間における大学附属図書館の動向及び今後の目標等について
2. 東北地区国立大学図書館におけるメールによる文献複写物の送付について
3. 次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業について
4. 東北地区国立大学図書館協会会則の改正について
5. 第53回国立大学図書館協会総会に向けての準備事項について
6. 次期当番館について

○第53回国立大学図書館協会総会

期 日 平成18年6月29日

会 場 一橋記念講堂

当番地区 東京地区

当 番 館 一橋大学附属図書館

協議事項

1. 筑波技術大学及び富山大学の加入について
2. 理事選出について
3. 平成17年度決算報告・同監査報告について
4. 平成17年度各記念基金等収支決算報告・同監査報告について
5. 平成18年度事業計画(案)について
6. 国立大学図書館協会記念基金規程の制定について
7. 平成18年度予算(案)について

(1) 平成18年度事業計画(案)

- ① 総務委員会は、継続する。(常置)
- ② 人材委員会は、設置期間を1年間延長する。
- ③ 国際学術コミュニケーション委員会は、継続する。(常置)
- ④ 学術情報委員会は、継続する。(常置)
- ⑤ 経営問題委員会は、終了する。

(2) マネジメント・セミナーの開催について

期 日：6月28日(水)

会 場：学術総合センター

(3) 第53回総会ワークショップ

- ① 機関リポジトリなどのデジタル・リソースに関する諸課題への取組について
- ② 大学図書館経営の諸課題と大学図書館職員の育成・確保について

○平成18年度外国雑誌センター館会議

(平成18年5月25日 東京大学)

協議事項

1. 外国雑誌センター館の活動評価について
2. 外国雑誌センター館の広報活動について
3. 「来館による複写件数」数値の集計方法の統一について

○日本医学図書館協会総会について

第77回NP0法人日本医学図書館協会総会

日 程：平成18年5月25日(木)～26日(金)

会 場：ウィルあいち

当番地区：東海地区

当 番 館：藤田学園医学・保健衛生学図書館

館長・司書会議

メインテーマ「ライフサイエンス情報の新しい流れ」

1. 基調講演

「NPO法人としての日本医学図書館協会の今後に期待する」

NPO法人日本医学図書館協会 会長 清水 英佑

2. パネルディスカッション 「JMLAの新しい展開」

座 長 防衛医科大学校図書館長

岡本 天晴

①公共図書館からJMLAへの提言－一般市民の視点から－

愛知県図書館 サービス課課長補佐

仲井 敏夫

②国立ライフサイエンス情報センター(仮称)設立構想－経緯と当面の事業および将来構想－

JMLA総務担当理事

木村 博

③学術雑誌をめぐる諸問題－重複雑誌交換、分担

購入、電子ジャーナル・コンソーシアムの活動－

JMLA総務担当理事

北川 正路

④ヘルスサイエンス情報専門員認定制度

－専門職制度の確立に向けて－

JMLA専務理事

殿崎 正明

総 会

1. 平成17年度事業報告

2. 平成17年度決算報告

3. 平成18年度事業計画（案）

4. 平成18年度予算（案）

5. 役員選挙と投票結果報告

6. 新評議員の報告

7. 分科会

① 医学情報の一般への提供

② 学術雑誌をめぐる諸問題

③ 図書館サービスと著作権

④ 医学図書館の業務委託

公立部会関係

(幹事館 宮城大学)

○平成18年度公立大学協会図書館協議会事務長会・総会

期 日：平成18年6月1日（木）～6月2日（金）

会 場：群馬県高崎市 ホテルメトロポリタン高崎

開 催 館：群馬県立女子大学附属図書館

<事務長会>

報 告

「情報リテラシー（図書館利用教育）の実践について」

公立はこだて未来大学情報ライブラリー 教務課図書担当主査

渡辺 美樹子 氏

事例発表

「大学図書館における学生ボランティアの活用について」

群馬県県民健康科学大学附属図書館 図書グループリーダー

井上 譲 氏

<総 会>

文部科学省行政説明

文部科学省研究振興局情報課学術基盤整備室大学図書館係長

及川 善博 氏

基調講演

「大学と地域貢献」

高崎経済大学地域政策学部長

大宮 登 氏

報告事項

1 平成17年度事業報告

2 平成17年度決算報告及び監査報告

3 相互協力委員会報告

4 HP委員会報告

5 事務長会報告

6 その他

協議事項

1 平成18年度事業計画（案）について

2 平成18年度予算（案）について

3 公立大学協会図書館協議会表彰規程による表彰について

4 公立大学協会図書館協議会研修会について

5 筑波大学主催大学図書館職員長期研修参加者の推薦について

6 平成18年度相互協力委員会について

7 平成18年度HP委員会について

8 役員の選出について

9 関係委員会委員等の推薦について

10 日本国書館協会(大学図書館部会)への役員等の派遣について

11 「内規施行申合せ事項」「総会申合せ事項」の改正について

12 役員活動に伴う旅費の支給規程制定について

13 役員活動に伴う臨時職員の雇用について

- 14 電子ジャーナル導入経費に関する国への要望書
について
15 その他

○平成18年度公立大学協会図書館協議会研修会

期　　日：平成18年7月27日（木）～7月28日（金）
会　　場：大阪府堺市　公立大学法人　大阪府立大学
開　催　館：公立大学法人　大阪府立大学
テ　マ：「大学図書館職員パワーアップ！」
講　演
　　「大学図書館に未来はあるか？」
　　国公私立大学図書館協力委員会委員長
　　国立大学法人千葉大学附属図書館長
　　土屋　俊氏
　　パネルディスカッション（事例報告等）
　　コーディネーター
　　土屋　俊氏

　　パネラー
　　京都大学医学研究科教務・学生支援室専門職員
　　北川　昌子氏
　　事例報告「情報リテラシー教育への取り組み」
　　大阪府立大学学術情報課主査
　　長谷川　真奈美氏
　　事例報告「学生選書会議の設置と選書ツアーワーク」
　　関西学院大学図書館運営課主幹
　　安本　裕和氏
　　事例報告「機関リポジトリ構築への取り組み－関西
　　学院大学の場合－」
　　講演と実習
　　「実践的！情報を使うスキルはこう磨く」
　　同志社大学総合情報センター
　　情報サービス課今出川サービス係長
　　井上　真琴氏

○平成18年度公立短期大学図書館協議会総会

期　　日：平成18年8月25日（金）
会　　場：千葉県千葉市　千葉県立衛生短期大学
開　催　館：千葉県立衛生短期大学
講　演
　　「高度専門職教育時代に生きる」
　　千葉県立衛生短期大学　一般教育教授・教務部長
　　高梨　俊毅氏

報告事項

- 1 役員紹介
- 2 平成17年度事業報告及び決算報告

3 平成17年度地区協議会活動報告

協議事項

- 1 平成18年度事業計画及び予算（案）
 - 2 提案議題
- その他

○平成18年度公立短期大学図書館協議会職員研修会

期　　日：平成18年8月24日（木）～25日（金）
会　　場：千葉県千葉市　千葉県立衛生短期大学
開　催　館：千葉県立衛生短期大学
講　演
　　「図書館サービスの魅せ方－サイン・掲示物・刊行物の
見直しから－」
　　乃村工藝社
　　押樋　良樹氏
　　全体討議
　　テーマ「小規模運営図書館の自己点検－サイン・掲示物・
刊行物を見直す－」
　　情報交換
　　近隣類縁機関見学
　　1 放送大学附属図書館
　　2 日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館

○平成18年度公立大学協会図書館協議会東部地区館会議

期　　日：平成18年8月28日（月）
会　　場：函館市　函館国際ホテル
開　催　館：公立はこだて未来大学
協議（確認）事項
　　「東部地区における役員ローテーションについて」
　　（公立はこだて未来大学情報ライブラリー）
承合事項

- 1 「ILL文献複写にかかる経費および図書館内コピー
料金の公費・私費の区分に関するアンケート」
(前橋工科大学附属図書館)
- 2 「地域住民サービスについて」
(岩手県立大学メディアセンター)
- 3 「アウトソーシングの導入および導入検討状況」
(宮城大学総合情報センター)
- 4 「卒業論文、修士論文、博士論文の収蔵・公開
について」
(公立はこだて未来情報ライブラリー)

私立部会関係

(幹事館：岩手医科大学・東北学院大学)

○私立大学図書館協会の活動（東地区部会を主として）

I. 加盟校（2005年度承認）：486校（東地区校243校、西地区校243校）

*東北地区の加盟校

秋田看護福祉、秋田経済法科、石巻専修、いわき明星、奥羽、郡山女子、尚絅学院、仙台白百合女子、東北学院、東北芸術工科、東北工業、東北女子、東北福祉、東北文化学園、東北薬科、日本（工）、八戸工業、八戸、東日本国際、富士、宮城学院女子、盛岡（以上22校）

○2005年度東地区部会総会

日 程：2005年6月10日（金） 10:00～12:00

会 場：昭和女子大学 学園本部館3階大会議室

参加数：90校 139名

議 事：2004年度東地区部会会務報告及び研究部活動報告、2005年度事業計画、予算決定等

○2005年度東地区部会 館長会

日 程：2005年6月10日（金）12:00～13:30

会 場：昭和女子大学 学園本部館3階中会議室

参加数：49校 49名

議 題：「大学図書館利用者サービスと組織変革」

○2005年度東地区部会 研究講演会

日 程：2005年6月10日（金）13:45～16:45

会 場：昭和女子大学 学園本部館3階大会議室

参加数：121校 199名

講 演：

「大学図書館における著作権」

早稲田大学図書館 総務課長

中元 誠 氏

講 演：

「学術機関リポジトリ 構築の現状」

国立情報学研究所開発・事業部コンテンツ課長

尾城 孝一 氏

○2005年度第1回東地区部会研修会

テーマ：大学図書館員に今、何が求められているか？

日 程：2005年6月30日（木）～7月1日（金）

場 所：東京経済大学 6号館7階大会議室

参加数：112校 136名

基調講演：

「大学図書館員に今、何が求められているか？」

同志社大学社会学部 教授

大城 善盛 氏

講 演：

「大学図書館における新たな情報サービスとそれを支える基盤（仮題）」

千葉大学文学部 助教授

竹内 比呂也 氏

講 演：

「大学図書館の仕事、組織、職員：大学図書館員に関する議論の前提」

文教大学越谷図書館

鈴木 正紀 氏

講 演：

「利用者志向の図書館サービスと大学図書館員」

奈良女子大学付属図書館 情報サービス係

香海 沙織 氏

講 演：

「図書館においていかに「ひと」を育成するか」

日本経済団体連合会社会本部 情報メディアグループ

村橋 勝子 氏

講 演：

「私立大学図書館協会国際図書館協力委員会 2004年度海外派遣研修イリノイ大学モーテンソンセンター主催図書館国際プログラム～これからの大図書館－電子図書館化と司書の専門性向上を目指すために～」

中央大学図書館都心キャンパス事務室

梅澤 貴典 氏

○2005年度第2回東地区部会研修会

日 時：2005年11月10日（木）～11日（金）

場 所：中央大学 後楽園キャンパス

テーマ：大学図書館における危機管理～防災と問題

利用者を中心に～

参加数：110校 129名

基調講演：

「図書館における危機管理総論」

国立国会図書館

小林 昌樹 氏

講 演：

「図書館における防災の基本」

東京消防庁

樋口 隆司 氏

講 演：

「長岡技術科学大学付属図書館における新潟県中

越地震の被害と復興に関する考察」

長岡技術科学大学

安原 明子 氏

講 演：

「『問題利用者』の周辺」

東京農業大学 教授

中野 捷三 氏

講 演：

「大学図書館における問題利用者－中央大学中央図書館の場合」

中央大学 課長

伊原 千秋 氏

講 演：

「公共図書館の問題利用者－つくば市立中央図書館の事例から」

つくば市立中央図書館 館長

吉田 昭 氏

パネルディスカッション：

「大学図書館は問題利用者にどう対応していくべきか？」

○2005年度私立大学図書館協会 第66回総会・研究大会

日 程：2005年 8月25日（木）～26日（金）

場 所：松山大学

参加数：169校 276名

メインテーマ：「大学図書館と学生の読書を考える」

総 会：2004年度一般会計報告・特別会計決算報告

2005年度事業計画、2005年度一般会計予算

特別会計予算、新規加盟等

記念講演：

「藩札史研究の現在一本学所蔵奥平コレクションに寄せて」

松山大学 教授

岩橋 勝 氏

研究大会

発 表1. 「嵯峨本『伊勢物語』の書誌的調査」

武庫川女子大

川崎 安子 氏

近畿大

岡 友美子 氏

関西大学

赤木 一夫 氏

発 表2. 「JIS, EACC, Unicode の漢字正規化のため

の調査」

早稲田大学

莊司 雅之 氏

研究大会報告

(1) 2004年度海外集合研修報告

日 程：2004年10月24日～31日

研修先：イリノイ大学モーテンソンセンター

上智大学 杉本 昌彦 氏

国際基督教大学 宮本 智佳子 氏

(2) 2004年度海外派遣研修報告

日 程：2004年9月13日～11月5日

派遣先：イリノイ大学

中央大学

梅澤 貴典 氏

目 的 ①アメリカにおける大学図書館の現状

②図書館司書の専門性

講 演

(1) 大学図書館の可能性－松山大学図書館の実践を中心

松山大学 教授

大内 裕和 氏

(2) 「俳句の『場』としてのインターネット」

－ハイクの統一場理論を目指して－

松山大学 教授

墨岡 学 氏

○2005年度研究分科会報告大会

日 時：2005年12月21日～22日

会 場：立正大学総合学術情報センター

参加数：95校 199名

発表者：45名

研究発表：西洋古版本研究分科会 等 全14分科会

東北地区大学図書館協議会ウェブサイト

WGについて

{ WG委員 18年9月21日現在 } * 印はウェブ管理者

佐藤 亜紀（山形大学）

尾田 陽子、菅原 透、永井 伸*、米澤 誠（東北大学）

西戸 雅博（福島県立医科大学）

須田 充彦（東北学院大学），

稻妻 晶子（東北福祉大学）

月 日	摘要
平成17年 9月15日	① 第60回総会において東北大学附属図書館のHPに東北地区大学図書館協議会のウェブサイトを開設することが了承された。 ② これに伴い、東北地区大学図書館協議会ウェブサイトWGを設置することも併せて了承された。 ③ WGの委員の選任については、「図書館のすすめ」を作成時の執筆委員を中心とし、常任幹事館に一任することとなった。 ④ 委員は「東北大学4名、山形大学1名、福島県立医科大学1名、東北学院大学1名、東北福祉大学1名」計8名とした。
平成17年 10月21日	第1回WG会議 議題 ① ウェブサイトに掲載する内容の検討 ② 今後の活動内容について 出席者 東北大学4名、山形大学1名、福島県立医科大学1名、東北学院大学1名、東北福祉大学1名 計8名
平成18年 3月8日	第2回WG会議 議題 ① 「図書館のすすめ」のオープンソースの地区外機関への配付について ② 新たなコンテンツ作成について 出席者 東北大学4名、山形大学1名、福島県立医科大学1名、東北学院大学1名、東北福祉大学1名 計8名

平成17年度東北地区大学図書館協議会フレッシュ・パーソン・セミナー開催要項

1. 趣旨

東北地区の各大学等に図書館職員として採用及び配属等された職員が、最初に受ける地区全体の研修として位置づける。所属機関の違いに左右されない図書館職員としての基本的な知識を身につけると同時に、地区内の職員との交流の機会を設け、人的ネットワークの形成を促すことを目的とする。

2. 対象者

東北地区大学図書館協議会に加盟している大学等の図書館に採用及び配属等されて概ね2年未満の職員(非常勤職員を含む。)

3. 開催日時

平成17年12月8日（木） 10：00～16：50

4. 開催場所

東北大学附属図書館2号館4階会議室

5. 主催

東北地区大学図書館協議会（国立大学図書館協会）

6. 実施組織

東北地区大学図書館協議会で立ち上げる実施委員会

7. 実施経費

参加者の旅費および資料費等は、各大学法人等の負担とする。

8. 開催テーマ

図書館職員としての基礎知識

9. その他

「国立大学図書館協会フレッシュ・パーソン・セミナー開催計画（企画案）」に基づき、東北地区に限定して実施するものである。

平成17年度東北地区大学図書館協議会フレッシュ・パーソン・セミナー実施要項

期日：平成17年12月8日（木）

場所：東北大学附属図書館2号館4階会議室

カリキュラム内容等

① 大学図書館の役割

東北大学附属図書館総務課長

諫訪田 義美

② 図書館カウンターでの接遇：利用者対応の実例を中心に

東北大学附属図書館医学分館運用係長

今出 朱美

③ 目録データの作成と提供：NACSIS-CATを中心に宮城教育大学附属図書館目録情報係長

菅原 淑子

④ 資料の活用：NACSIS-ILLを中心に

東北学院大学中央図書館閲覧係相互利用担当

小山 純

⑤ カレントトピックス：「大学図書館における情報リテラシー」

東北大学附属図書館閲覧第二係長

菅原 透

⑥ 全体討議：カレントトピックス：「大学図書館における情報リテラシー」の講演内容について

司会 東北大学附属図書館サービス課長

白石 光雄

東北地区大学図書館協議会加盟22館から42名の参加があった。

[平 成 17 年 度 決 算 書]

自 平成17年9月1日
至 平成18年8月31日

項目	17年度予算額	17年度決算額	増 減 (△)	摘要
(収入)	円	円	円	
前年度繰越金	408,417	408,417		
会 費	900,000	900,000	0	17年度分 60館で決算
雑 収 入	120,024	120,060	36	協賛広告 57号 (6社) 預金利息 (60円)
計	1,428,441	1,428,477	36	
(支出)	円	円	円	
会誌印刷費	450,000	420,000	△30,000	会誌 57号
総会補助費	200,000	200,000	0	第60回 (青森大学 100,000円) 第61回 (前渡し金、宮城大学 100,000円)
事 業 費	285,000	207,260	△77,740	合同研修会 永年勤続者表彰 5名 地域講習会 (図書、雑誌コース) 補助
事 務 費	50,000	50,000	0	青森大学 (当番館) 東北大学
通信運搬費	40,000	22,653	△17,347	郵送料 他
積立繰入金	90,000	90,000	0	記念事業基金に繰入
会 議 費	40,000	25,670	△14,330	幹事会開催
消耗品費	10,000	6,826	△3,174	会誌送付用封筒等
雑 費	10,000	6,000	△4,000	会計監査交通費補助
予 備 費	253,441	18,321	△235,120	ウェブサイトWG会議 (17.10.21・18.3.8)
次 年 度 繰 越		381,747	381,747	
計	1,428,441	1,428,477	36	

平成17年度決算書は、関係帳簿、証憑書類を精査した結果、正確であることを認めます。

平成18年9月11日

会計監査館 岩手県立大学メディアセンター (印)
東北福祉大学図書館 (印)

[平成17年度記念事業基金決算書]

自 平成17年9月1日
至 平成18年8月31日

項目	17年度予算額	17年度決算額	増 減 (△)	摘要
(収入)	円	円	円	
前年度繰越金	165,650	165,650	0	
積立金	90,000	90,000	0	通常会計より繰入
利 息	28	12	△16	普通預金利息 (12円)
計	255,678	255,662	△16	
(支出)	円	円	円	
事 業 費	0	0	0	
予 備 費	0	0	0	
次 年 度 繰 越	255,678	255,662	△16	
計	255,678	255,662	△16	

平成17年度記念事業基金決算書は、関係帳簿、証憑書類を精査した結果、正確であることを認めます。

平成18年9月11日

会計監査館 岩手県立大学メディアセンター (印)
東北福祉大学図書館 (印)

協議題（総会）

1. 新規加盟館について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

聖和学園短期大学図書館長から、平成18年8月28日付
けで新規加盟の申請があったので、加盟について審議
を、お願いしたい。

＜新規加盟館紹介＞

聖和学園短期大学 図書館

1. 大学紹介

・所在地 〒981-3213 宮城県仙台市泉区南中山五丁
目5番2号

聖和学園短期大学 TEL 022-376-3151

聖和学園は、宮城県佛教協会により、「吉田高等女学校」として1930年に開校され、現在幼稚園・高等学校・短期大学を擁しております。

短期大学は、「慈悲」と「和」という仏教主義に基づく教育を建学の精神とし、1951年に開設されました。1987年にはキャンパスを木ノ下から泉区南中山に移転しました。2005年より、多彩な科目から学生将来に合わせたカリキュラムを選択できるキャリア開発総合学科を新たに開設し、男女共学となりました。

2006年現在、保育科に206名、キャリア開発総合学科に441名在籍しており、自他を大切にする人間の育成を根底に、各学科で知識や技術を学んでおります。

2. 図書館概要

・図書館名 聖和学園短期大学図書館

・図書館長 片岡 彰

・電話 022-376-8257

・FAX 022-376-3155

図書館は、全館が開架式で、自由に閲覧ができるようになっています。規模は小さめですが大きな窓から明るい光が差しこみ、緑を眺望できる安らげる空間です。閲覧席は、仕切りのある個人閲覧席と、4人掛け閲覧席を設けています。A Vコーナーには、ビデオ・DVD再生機を2台ずつ設置しています。

(1) 延べ床面積 978m²

開架書庫 約 30,000冊

閲覧座席 56席

ブラウジングコーナー 8席

A Vコーナー 2席

検索用パソコン 3台

移動書架 約 20,000冊

事務室

紀要室

(2) 藏書数 図書 50,686冊 / 視聴覚 859点 / 雑誌 69種 / 新聞 5種

(3) 館員 2名(専任1名、臨時1名)

2. [平成18年度事業計画(案)]

1 第61回総会の開催

平成18年9月21日(木) 宮城大学を当番館に実施

2 永年勤続の表彰

3 学術奨励賞の表彰

4 研修会の開催(国・公・私立大学合同)

開催当番 福島地区の予定

5 会誌の発行

平成19年5月の予定

6 記念事業基金の造成

平成18年度通常会計から記念事業基金(91,500円)
を繰り入れ予定

[平成18年度予算書(案)]

自 平成18年9月1日
至 平成19年8月31日

項目	17年度予算額	18年度予算額	増減(△)	摘要
(収入)	円	円	円	
前年度繰越金	408,417	381,747	△26,670	
会費	900,000	915,000	15,000	18年度会費61館分
雑収入	120,024	120,060	36	協賛広告58号(6社) 預金利息(60円)
計	1,428,441	1,416,807	△11,634	
(支出)	円	円	円	
会誌印刷費	450,000	450,000	0	会誌58号
総会補助費	200,000	200,000	0	第61回(宮城大学100,000円) 第62回(岩手県立大学、前渡し金100,000円)
事業費	285,000	285,000	0	合同研修会 永年勤続者表彰 学術奨励 地域講習会補助
事務費	50,000	50,000	0	宮城大学(当番館) 東北大
通信運搬費	40,000	40,000	0	郵送料他
積立繰入金	90,000	91,500	1,500	記念事業基金に繰入
会議費	40,000	70,000	30,000	幹事会(2回)、ウェブサイトWG会議(2回)
消耗品費	10,000	10,000	0	
雑費	10,000	10,000	0	会計監査交通費
予備費	253,441	210,307	△43,134	
計	1,428,441	1,416,807	△11,634	

[平成18年度記念事業基金予算書(案)]

自 平成18年9月1日
至 平成19年8月31日

項目	17年度予算額	18年度予算額	増減(△)	摘要
(収入)	円	円	円	
前年度繰越金	165,650	255,662	90,012	
積立金	90,000	91,500	1,500	通常会計より繰入
利息	28	12	△16	普通預金利息(12円)
計	255,678	347,174	91,496	
(支出)	円	円	円	
事業費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
次年度繰越	255,678	347,174	91,496	
計	255,678	347,174	91,496	

永年勤続表彰

元東北大学附属図書館情報管理課長

佐藤 正弘 氏

元東北大学附属図書館工学分館管理係員

早坂 幸子 氏

元秋田大学附属図書館利用サービス係長

濵谷 順子 氏

元福島県立医科大学附属図書館図書情報担当専門司書

鈴木 和子 氏

元山形大学附属図書館工学分館図書係員

菅原 敏子 氏

協議題（国立・公立・私立部会）

(東北大学附属図書館)

1. 東北地区大学図書館協議会学術奨励規程の改正について

(提案理由)

(総会の席で提案説明)

(東北大学附属図書館)

2. 学術奨励賞候補論文等審査取扱要項の改正について

(提案理由)

(総会の席で提案説明)

(東北大学附属図書館)

3. 東北地区大学図書館協議会表彰規程について

(提案理由)

(総会の席で提案説明)

協議題（国立部会）

(山形大学附属図書館)

1. 東北地区国立大学図書館におけるメールによる文献複写物の送付について

(提案理由)

平成18年4月20日に開催された平成18年度東北地区国立大学図書館協会総会の協議事項として「東北地区国立大学図書館におけるメールによる文献複写物の送付について」を山形大学から提案し、平成17年度に引き続き試行を行うことが了承された。

その後、試行を円滑に行うためのワーキング・グループを設置し、加盟館に対して、複合機の設置状況について調査を行った。

ワーキング・グループの活動についての中間報告を行い、今後の進め方について協議したい。

承合事項（国立部会）

(秋田大学附属図書館)

【別添配付資料参照】

1. 学生用図書購入費について

(提案理由)

国立大学が平成16年度から法人化され、図書館の通常経費も毎年1%の節約(効率化)を求められており、年々減少する状況にあります。

この状況の中で、平成17年度から授業料が値上げされたことに対する学生への還元という観点からも、本館では学生用図書購入費の増額を志向し、それが無理な場合でも現状を維持していく方針であります。対応に苦慮しております。

昨年度も提案させていただきましたが、継続して各大学の状況を把握し、今後の予算措置の参考とさせていただきたく、下記の事項についてご教示願います。

記

学生用図書購入費について

区分	17年度	18年度	備考
学生数 学部学生	人	人	
大学院生	人	人	
学生数計	人	人	
年間購入冊数	冊	冊	
学生用図書購入費総額	千円	千円	
学生1人当たりの金額	円	円	

- 注 ① 学生用図書購入費総額は、図書館予算又は図書館で所管する全学共通経費のうちの学生用図書購入費を記入願います。
学部(部局)予算で購入する分は含まないで下さい。
- ② 平成18年度分で、未定の事項については記入不用です。

永年勤続被表彰者紹介

1. 氏名 佐藤 正弘 氏

(昭和21年10月1日生)

元東北大学附属図書館情報管理課長

●推薦理由

佐藤正弘氏は、昭和41年2月、東北大学附属図書館に採用されて以来、秋田大学附属図書館受入係長、東北大学附属図書館閲覧課相互利用掛長、整理課逐次刊行物掛長、北青葉山分館整理・運用掛長、工学分館管理掛長を歴任された後、平成15年1月本館情報管理課長に就任され、平成18年3月末に勧奨により退職されることになりました。

同氏は、この間33年の永きにわたり図書館職員として永年培われてきた豊富な知識と経験を生かし、温厚と誠実な人柄をもって図書館業務の向上及び後輩の指導育成に尽力されました。

特に、平成15年1月本館情報管理課長就任時の際には、国立大学法人化移行時期に当たり、強いリーダーシップで優れた手腕を発揮され、東北大学の教育・研究並びに図書館資料の充実に多大な貢献をされました。

このような永年のご苦労とご功績に対しまして感謝の意を表するため、東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条第1項に該当するものとして表彰していただきたく、推薦いたします。

●略歴

昭和41年2月 東北大学附属図書館閲覧課
(事務補佐員)
昭和42年1月 " 配置換(定員内)
昭和42年7月 " 整理課
昭和53年4月 秋田大学附属図書館受入係長
昭和58年4月 東北大学附属図書館閲覧課
相互利用掛長
昭和59年4月 " 整理課逐次刊行物掛長
平成元年4月 " 北青葉山分館整理・運用
掛長
平成4年4月 " 工学分館管理掛長
平成15年1月 " 情報管理課長
平成18年3月 効率により退職

【参考】

平成8年4月 豊橋技術科学大学教務課図書課長
平成11年4月 徳島大学附属図書館
情報サービス課長
平成14年1月 茨城大学附属図書館情報管理課長

2. 氏名 早坂幸子氏

(昭和20年9月5日生)

元東北大学工学分館管理係員

●推薦理由

早坂幸子氏は、昭和39年12月に東北大学工学部機械工学科図書室に採用されて以来、平成18年3月末に工学分館を定年で退職するまで、41年余の永きにわたり、東北大学工学部、電気通信研究所、附属図書館工学分館に勤務されました。

この間、受入業務、目録業務、閲覧業務、文献複写業務など様々な図書館業務に従事し、その貢献は多大なものとなっています。特に、工学部機械工学科図書室におきましては、豊富な経験と知識を活かし、教員

や学生に対する奉仕に誠心誠意あたられ、学習・研究活動に多大な貢献をされました。また、平成7年の工学分館増築による学科図書室の工学分館への統合の際には、膨大な蔵書や資料の大移動という困難な仕事にも拘わらず精励し、工学分館の集中管理による利用環境の整備に貢献されました。

平成13年4月に電気通信研究所図書室に配置換になり、図書室全般の業務でその手腕を遺憾なく発揮されました。平成16年4月に工学分館に戻られてからは、外国雑誌の購入等学術情報整備に尽力されました。

このような永年のご苦労と功績に対しまして感謝の意を表すため、東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条第1項に該当するものとして表彰していただきたく、推薦いたします。

●略歴

昭和39年12月 東北大学工学部機械工学科図書室
平成7年4月 " 附属図書館工学分館
整理・運用掛
平成13年4月 " 電気通信研究所
総務課図書掛
平成16年4月 " 附属図書館工学分館
管理係
平成18年3月 定年退職

3. 氏名 濵谷順子氏

(昭和23年12月20日生)

元秋田大学附属図書館利用サービス係長

●推薦理由

濵谷順子氏は、昭和47年4月に附属図書館閲覧係に配属されて以来、目録係、閲覧係、医学部分館図書係、受入係、目録係長、図書情報係長、利用サービス係長と退職されるまでの34年の永きにわたり秋田大学附属図書館に勤務されました。

同氏は、採用直後から、本館の閲覧係、目録係及び医学部分館図書係等において教官及び学生に対しての積極的な図書館サービスを展開し、その後平成11年から目録係長、図書情報係長、利用サービス係長として、その豊富な経験と知識を生かし、後輩の指導と教官や学生への奉仕に誠心誠意あたられ、研究・学習の支援に多大の貢献をされてきました。

平成16年4月から国立大学が法人化されましたが、法人化後の附属図書館の整備充実に尽力され、特に、閲覧室の整備、秋田大学コーナー・秋田県コーナーの設置、ボランティア業務の拡充等今後の附属図書館の基礎作りに多大の貢献をされました。

このような永年の苦労と功績に対し感謝の意を表すため、東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条第1項に該当するものとして表彰していただきたく、推薦いたします。

●略歴

昭和47年4月	秋田大学附属図書館閲覧係
昭和48年10月	" 附属図書館目録係
昭和55年2月	" 附属図書館閲覧係
昭和61年4月	" 附属図書館医学部分館図書係
平成7年4月	" 附属図書館受入係
平成11年4月	" 附属図書館目録係長
平成12年4月	" 附属図書館図書情報係長
平成15年4月	" 附属図書館利用サービス係長
平成18年3月	退職

データベースや電子ジャーナル等の電子的資料が導入されてからは、教職員及び学生への利用指導、研修に努められました。また、文献複写、相互貸借業務に当初から携わり、増加する学内外の依頼に適切かつ親切に対応され、学部内においても絶大な信頼を得ていました。

これらの永年の功績に対しまして感謝の意を表すため、東北地区大学図書館協議会表彰規定第2条第1項に該当するものとして表彰していただきたいいたします。

●略歴

昭和41年4月	山形大学工業短期大学部総務係採用
昭和54年4月	" 附属図書館工学部分館図書係
平成17年12月	" 辞職

4. 氏名 鈴木和子氏

(昭和20年2月14日生)

元福島県立医科大学附属図書館図書情報担当専門司書

●推薦理由

鈴木和子氏は、昭和45年7月、福島県立医科大学附属図書館に採用されて以来、平成18年3月末の退職まで、35年有余の永きにわたり、図書業務に従事し、同大学附属図書館に多大な貢献をされました。

このような永年のご苦労と功績に対しまして感謝の意を表すため、東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条第1項に該当するものとして表彰していただきたい、推薦いたします。

●略歴

昭和45年7月	福島県立医科大学附属図書館司書
昭和59年4月	" 副主任司書
昭和61年4月	" 主任司書
平成8年4月	" 専門司書
平成18年3月	退職

5. 氏名 菅原敏子氏

(昭和20年11月27日生)

元山形大学附属図書館工学分館図書係員

●推薦理由

菅原敏子氏は、昭和41年山形大学工業短期大学部総務係に採用され、その後昭和54年4月から附属図書館工学部分館図書係に異動となり、平成17年12月まで26年の永きにわたり一貫して図書館業務に精励されました。

同氏は、工学部分館において、和、洋雑誌の契約、購入、管理、製本等の業務や専門雑誌の収集に尽力され、

第61回東北地区大学図書館協議会総会議事要録

開会のあいさつ

宮城大学総合情報センター長 久 恒 啓 一

ただ今ご紹介いただきました、宮城大学総合情報センター長の久恒でございます。本日はご多忙のところ遠路はるばるお越しいただきまして、誠にありがとうございます。

先程幹事会を実施しましたが、「東北地区大学図書館協議会」も61回目を迎え、大変長い歴史だと改めて感じております。

今日の議題にもありますけれども、新しい加盟館が一つ増える予定とのことで、これで61回大会にふさわしい61館になるそうでございます。昨年は60館でしたから、来年以降62館になるのではないかと思って期待しております。

さて、大学をめぐる環境というのは厳しいわけで、皆さんもほとんどご承知のように、独立行政法人化とか、認証評価の義務化とか、少子高齢社会など、さまざまな問題がございますが、図書館につきましても、そういう流れの中で今後きちんとやっていかなければならぬと考えております。

私はこの4月から総合情報センター長に就任しましたが、色々な問題がございます。私どもは教育研究のライフラインとして図書館を位置づけており、インフラの整備とコンテンツの充実をここ半年間実施してきました。例えば学生用のスタディーライブラリーの充実を図らなければいけないとか、蔵書数が大変少なく、どう増やしていくか、資料の質の確保の問題、規程の整備、あるいは利用者のさまざまなニーズの把握とか、色々な問題がございます。

今日、私個人的に期待しておりますのは、私どもの蔵書数を予算の削減の中でどう増やすかという問題について、例えば各大学で定年退職の教員の方がいらっしゃると思うんですが、そういう方が蔵書の処理に困っているという話を聞いておりますので、そういうものを寄附いただきながら増やせないかと思いまして、懇親会等でもご意見、お知恵をいただければありがたいというふうに考えております。

図書館関係につきましては、このように一堂に会す機会はなかなかございませんので、非常にいい情報交換の機会だと考えております。ぜひ皆さん今日はご協力をお願いしたいと思います。

開催に当たりまして、幹事館、三つの大学の幹事館でありますとか、あるいは常任幹事館の東北大学であります。

すとか、大変お世話になっておりますので、ここで改めて感謝を申し上げたいと思います。特に、事務職員の方々には事前の準備が大変だったと思いますけれども、どうもありがとうございました。今日一日よろしくお願ひしたいと思います。ありがとうございます。

歓迎の言葉

宮城大学 学長 馬 渡 尚 憲

ただいまご紹介いただきました宮城大学の馬渡でございます。今日は宮城県まで、あるいは仙台までお出でいただきまして、大変ありがとうございます。

我が宮城大学が当番校になりまして図書館協議会を開催するということでございますけれども、宮城大学は10年前に看護学部、事業構想学部で開学をしております。

そして昨年「食産業学部」という食に関する学部を設置しております。それで今年で10年、ということで、10周年の記念事業の準備をしております。そういう中で、図書館あるいは情報の重要性ということを日ごろ感じております。

皆様の中には100年の大学があり、あるいは120年の大学があり、図書館にとっては、図書や情報、電子媒体にいろいろな形での蓄積がおありかと思いますが、私共の10年という中では、研究者に対する情報やサービスの提供、あるいは学生に対するサービスの提供、あるいは地域に対する提供、何をとりましても蓄積が必要だなということを日ごろ感じているわけであります。そういう大学といたしまして、皆様方にこの協議会の輪を通じまして、いろいろお知恵を丁度しご指導をいただけるということで、大変喜んでおります。ぜひいろいろとご指導、ご協力、ご支援賜りますようにお願いしたいと思います。

今日は、宮城大学が当番校ということで総会がなされる訳ですが、私共いたらない点は御許し下さい。この総会が有益な総会になりますように祈念しております。今日はどうもご苦労さまでございます。

あいさつ

東北大学附属図書館 館長 野 家 啓 一

ただいまご紹介にあずかりました東北大学附属図書館長の野家でございます。常任幹事館として一言あいさつ申し上げます。

本日は第61回東北地区大学図書館協議会に遠路お運びいただきまして、誠にありがとうございます。また、

この総会の準備をしていただきました当番校の宮城大学さん、それからお忙しい中を御臨席賜りごあいさついただきました宮城大学学長の馬渡尚憲先生に厚くお礼申し上げます。

大学図書館は現在色々な意味で過渡期にあり、ご存じのように電子媒体の導入に伴ってさまざまな業務が増え、さらには緊縮財政のもと大きな運営上の転換も迫られているのが現状でございます。

紙媒体の場合には書籍の保存と、貸し出し等の出納管理というのが図書館の主な仕事でしたが、現在は電子ジャーナルを初め、さまざまな電子媒体がデータベース等を含めて流通しており、その維持管理という任務も図書館に課せられております。将来の図書館は電子図書館とか、ハイブリッド図書館とか言われておりますけれども、どのような方向へ進むべきか、模索を続けているのが、どこの大学図書館でも現状ではないかと思います。

大学図書館の役目は、基本的には「学生の学習支援」、それから「研究者の研究支援」という二つの主要な目的を持っている訳ですけれども、この学習支援と研究支援の機能が現在では大きく電子媒体に依存するようになっております。

実は、私は先週、明治大学と国際基督教大学の図書館を見学する機会を得ましたが、どちらの図書館もマルチメディア・ルームのようなものを設けており、学生はほとんどが本を読んでいるのではなく、パソコンに向かっているというのが実情がありました。

両方の大学ではともに、自動書架システムを取り入れており、これまで我々は書庫に入ると書架をブラウジングと言いますが、背表紙眺めながら読みたい本を探したのですが、今は全部パソコンで検索して、マウスをクリックするとそれが自動的に書架の方に伝えられて、それでベルトコンベアみたいなものに乗って目指す図書が出てくるというシステムになっています。特にＩＣＵの方は非常に大規模で、50万冊をそのシステムでやっているということで、ほとんど工場みたいな印象を受けました。私は将来の図書館というのはこういうものかといささかショックを受けたわけです。ただ、それだけに大変大きな費用もかかると聞いて、おいそれとは全国に普及するとは思えませんけれども、そういう電子図書館あるいは自動書架を備えた施設が多分21世紀の図書館に共通の基本的コンセプトになるのではないかと思って帰ってきた次第です。

本日のこの協議会ではさまざまな議論がなされることと思いますが、とりわけ国立、公立、私立の大学が一つの場所に集まってお互いに情報を交換するということは、

先ほど久恒先生もおっしゃっておられましたが、非常に稀な機会ですので、この機会を十分に生かして将来の大学図書館の構想等についても語り合い、お互いに学び合いながら今後の図書館運営の改善に努めていかなければと思っております。

本日はお集まりいただきまして、誠にありがとうございました。これから総会での議論の成果に期待をいたしまして、簡単ですがごあいさつとさせていただきます。

議長団選出

議長団については、慣例により総会当番地区より選出することになっており、今回は宮城地区が当番となっておりますので、国立大学は、青木宮城教育大学附属図書館長、私立大学は佐藤東北学院大学中央図書館長、公立大学は、当番大学の久恒宮城大学総合情報センター長を、それぞれ選出。

議長団を代表して、久恒宮城大学総合情報センター長からあいさつがあり、議事に入った。

総 会

議長の青木宮城教育大学附属図書館長から、新規加盟を申出している館があるので、最初に協議事項を1件行った後、報告事項を行う旨発言。

協議事項

1. 新規加盟館について

(東北大 高橋総務課課長補佐)

総会資料(以下「資料」という。)1~2頁にある聖和学園短期大学から、8月に加盟申請があり、幹事会で了承しているので追認願いたい。

審議の結果、満場一致で承認され、聖和学園短期大学が新規加盟館となった。

(聖和学園短期大学出席者からあいさつがあり、その後着席)

1 報告事項

① 平成17年度会務報告について

(東北大 菅原総務課長)

資料の3~4頁に基づき第60回総会以降の会務について、報告された。

1) 平成17年度末の加盟館数は、新たな加盟館、退会館がなかったので、国立15館、公立12館、私立33館の計60館である。

2) 平成17年度の合同研修会は、平成18年7月27日に東北芸術工科大学で「地域との共生に向けて」というテーマで開催された。「地域の時代のなかで」と題して基調講演、並びに3件の事例発表があった。

- 参加者は国公私立大学27館から合わせて44名であった。
- 3) 会誌の発行は、第57号を平成18年6月に450部印刷し、加盟館及び関係諸機関等にすでに送付されている。
- 4) 幹事会については、1回目は、平成18年7月24日東北大学において開催した。内容は第61回総会の議題等についてである。2回目は平成18年9月21日に本日の総会直前に当ホテルで開催した。内容は、第61回総会・部会の運営についてである。
- 5) 永年勤続者表彰については、17年度は5名を表彰し、所属の館長から、表彰状と記念品の贈呈を行った。
- 6) 学術奨励賞については、17年度は候補論文の推薦がなかった。
- 7) 記念事業基金の造成については、17年度の通常会計から記念事業基金として9万円を繰り入れた。
- 8) 平成17年度の会計監査については、9月11日に会計監査館の岩手県立大学及び東北福祉大学による会計監査を受けた。
- ② 平成17年度一般報告及び各部会報告について
- 平成17年度一般報告に関しては、資料5~7頁を参照にすることで報告は省略された。
- [部会報告]
- ◆国立部会報告
- 国立部会報告に関しては、資料8~11頁を参照にすることで報告は省略された。
- ◆公立部会報告
- 公立部会報告に関しては、資料12~14頁を参照にすることで報告は省略された。
- ◆私立部会報告
- 私立部会報告に関しては、資料15~18頁を参照にすることで報告は省略された。
- ③ ウェブサイト開設WGからの報告について
- (東北大学 高橋総務課課長補佐)
- 資料19頁の「東北地区大学図書館協議会ウェブサイトWGについて」に基づき、第60回総会以降の、ウェブサイトWGの活動状況について報告がなされた。
- ④ フレッシュパーソンセミナーの開催報告について
- (東北大学 高橋総務課課長補佐)
- 資料20・21頁の平成17年度フレッシュパーソンセミナーの開催要項に基づき、平成17年12月8日に開催し、42名の参加があったことまた、アンケートを取り、その結果を本日の報告資料に掲載していること等の報告がなされた。
- ⑤ 平成17年度決算報告について
- (東北大学 高橋総務課課長補佐)
- 資料22頁の平成17年度決算報告に基づき、収入及び支出の報告がなされた。
- ⑥ 平成17年度記念事業基金決算報告について
- (東北大学 高橋総務課課長補佐)
- 資料23頁の平成17年度記念事業基金決算報告に基づき、収入及び支出の報告がなされた。
- ⑦ 平成17年度会計監査報告について
- (岩手県立大学 福田主事)
- 平成18年9月11日に東北大学附属図書館において、東北福祉大学と本学で平成17年度決算書及び平成17年度記念事業基金決算書について監査した。その結果、関係帳簿、証憑書類等も整備されており、相違ないことを確認した旨の報告がなされた。
- 以上、決算報告及び会計監査報告は、満場一致で承認された。
- ## 2 協議事項
- ② 平成18年度事業計画（案）について
- (東北大学 菅原総務課長)
- 資料24頁の事業計画（案）について以下6項目の提案説明がなされた。
- 1) 第61回総会の開催。会計年度に沿って本日開催のため事後承認となること。
 - 2) 永年勤続者の表彰
 - 3) 学術奨励賞の表彰
 - 4) 研修会の開催（国・公・私立大学合同）開催当番は、福島地区の予定
 - 5) 会誌の発行 第58号を平成19年5月発行予定
 - 6) 記念事業基金の造成 平成18年度通常会計から記念事業基金として(91,500円)を繰り入れ予定。
- 以上の説明に対し、18年度フレッシュパーソンセミナー開催の有無について質問があり、今年度は開催予定がない旨説明がなされた。
- なお、6項目の事業計画案については、満場一致で承認された。
- ③ 平成18年度予算（案）について
- (東北大学 高橋総務課課長補佐)
- ④ 平成18年度記念事業基金予算（案）について
- (東北大学 高橋総務課課長補佐)
- 資料25頁の平成18年度予算（案）及び同記念事業基金予算（案）について説明がなされ、原案どおり満場一致で承認された。
- ⑤ 第62回総会の当番地区（館）について
- (東北大学 高橋総務課課長補佐)

資料26頁にもあるように、第62回総会の当番地区は岩手地区で、岩手県立大学が当番大学なっているので確認願いたいとの提案があり、協議の結果、満場一致で承認された。

また、63回の当番地区は福島地区となっているので、第62回総会までに当番館を報告願いたいとの依頼があった。

⑥ 平成18年度合同研修会について

(東北大 学 高橋総務課課長補佐)

資料27頁にもあるように、平成18年度の当番地区は福島地区、会場大学は会津大学で行うことについて提案があり、満場一致で承認された。

⑦ 東北地区大学図書館協議会学術奨励規程の改正について

(東北大 学 高橋総務課課長補佐)

次のとおり、提案理由の説明があり、各部会で協議した後、全体会議に報告願うこととした。

資料28頁に記載のとおり、学術奨励賞の規程が制定されてから40年ほど経過しているが、この間表彰されたケースは2件のみである。また平成元年度以降応募がない。このような状況に鑑み、応募しやすいように協議事項資料集の2頁に改正原案を提示したのでこれについて検討願いたい。

⑧ 学術奨励賞候補論文等審査取扱要項の改正について

(東北大 学 高橋総務課課長補佐)

次のとおり、提案理由の説明があり、各部会で協議した後、全体会議に報告願うこととした。

資料29頁に記載のとおり、学術奨励賞候補論文等審査取扱要項は、学術奨励規程、いわゆる親規程が改正されることに伴って、必然的にこの審査取扱要項も改正されることになるので、協議事項資料集の4頁に改正原案を提示したのでこれについて検討願いたい。

⑨ 東北地区大学図書館協議会表彰規程について

(東北大 学 高橋総務課課長補佐)

次のとおり、提案理由の説明があり、各部会で協議した後、全体会議に報告願うこととした。

資料30頁に記載のとおり、昨年度第60回総会において、私立部会から提案のあったもので、現行の「20年以上勤務者」という規定は、私立大学等においては現実的ではないので考慮していただきたいということであり、これについて検討願いたい。

⑩ その他

国際シンポジウムへの協賛について

(東北大 学 北村事務部長)

資料31頁及び配付資料に基づき、「求められる図書館サービスとスタッフディベロップメント」というテーマで東北大学を会場として11月17日にシンポジウムが開催されるので、このシンポジウムについて当協議会の協賛をお願いしたいという提案について、満場一致で承認された。

4 その他

5 永年勤続表彰について

資料32頁に掲載してある5名の永年勤続表彰者については、所属館から、表彰の伝達が行われており、表彰者の経歴等については、38~42頁に記載してある旨報告があった。

各部会報告

◆国立部会

(青木 宮城教育大学附属図書館長)

1) 学術奨励規程について

- ① 運用面で間口を広げる。
- ② 規程の文章を「学術的または顕著な活動等」に改める。
学術という言葉は広い意味に解釈する。
- ③ 「業績等」についても多面的な活動と解釈する。
- ④ 若い人の励みになるように、毎年数件であること
が望ましい。
- ⑤ 教員は、対象としない。

2) 東北地区大学図書館協議会永年勤続表彰規程について

- ① 表彰制度は、今後も維持したい。
 - ② 維持することを前提に加盟館にアンケートを取り、再度検討し次年度に向ける。
- 2 規程改正の具体的意見としては次の通り
- ① 現行の20年を10年とする。
 - ② 図書館長推薦の条項を加える。
 - ③ 功績顕著な者を具体化する。

◆公立部会

(佐藤 宮城大学総合情報センター副センター長)

1) 学術奨励規程について

- ① タイトルからして教員が対象となっているのではないかと誤解してしまう。
- ② 表彰が毎年多く出るように規程を変える。
- ③ 個人よりグループ活動の評価をする。
- ④ 第2条2項が該当する活動を中心にする。
- ⑤ 学術性を残すなら教員も巻き込む

2) 東北地区大学図書館協議会永年勤続表彰規程について

- ① 永年勤続は、廃止をしてはどうか。職員顕彰を別途継続して考えてはどうか。
- ② 何年も継続審議せず、来年度中に原案をまとめはどうか。

◆私立部会

(岩手医科大学 芳賀事務員)

- 1) 東北地区大学図書館協議会学術奨励規程について
 - ① 門戸を広げるという趣旨には概ね賛成である。
 - ② 学術という言葉が入ると敷居が高いという印象は否めない。
 - ③ 対象となるものの判断が難しく、公的集会そのものの解釈や、発表内容についても具体的な基準があったほうがいい。
 - ④ 報告、発表については、自主的な研究発表や各図書館の具体的な活動の報告、ネット上の発表まで含め、公表しているものであれば、内容で判断したほうがいい。
 - ⑤ 発表や活字にならないものの審査は、評価方法がかなり難しいのではないかという問題点も併せて指摘された。
 - ⑥ 対象年についても学事年度と協議会年度のずれもあるので検討を要するのではないか。私立では、人数等大学間格差が大きく毎日の業務をこなすだけで手一杯で論文や発表まで手が回らないという現実があること、専門職といわれる身分の人がどれだけいるか等、考慮すべき問題がある。

【今後の問題点】

- 条文の個別的な手直しだけでなく、目的や取り扱い方、他館からの推薦とか管理職の業績を含めるとか全般的な見直しをしていくべきで、全体討議の前にワーキンググループを作り、十分検討する必要がある。
- 2) 東北地区大学図書館協議会永年勤続表彰規程について
 - ① 私立大学の雇用形態、勤務形態は様々で図書館だけで20年という勤続年数は、大学間で差はあるが、現実的ではないのが実情である。
 - ② 永年勤続表彰を残すのであれば、運用規定として国公立でそれぞれ実情にあった年数にすればよい、という考え方も出された
 - ③ 大学に勤めた年数で表彰する必要はなく、協議会に対する功績のみを評価し表彰すればいいという意見が大半を占めた。
 - ④ 功績顕著の判断は難しく、協議会に対してどういうものを功績とするか、表彰の目的など定義を

再確認しながら評価の方法を検討する必要があるであろう。

- ⑤ 規程は一字一句検証する必要があるが、この場で検討することではないのでワーキンググループを設置し、検討したほうがよい。
- ⑥ 表彰すること自体必要ないという意見、またこの総会の場で議論することが無意味である、という意見も出された。
- ⑦ 私立部会として意見を集約することは敢えてしなかった。ただ、せっかくの協議会なので、表彰云々ではなく大学図書館が教育や研究、地域にどのように貢献していくかという観点から、実務的な問題点を話し合って職場へ持ち帰りたいという意見もあり、総会本来の目的や意義を問う形となつた。

② 協議題に関する質疑応答

1) 学術奨励関係

学術奨励賞については今まで、2件しか出ていない旨報告があったが、具体的な内容について伺いたい。これに対し、事務局から、平成元年度の学術奨励賞受賞者について次のとおり回答があった。

① 福島県立医科大学附属図書館副主任司書

藤倉晶子

論文名「病院図書館ネットワークと医学図書館サービス特に雑誌目録サービスー」

(第16回医学図書館員セミナー論文集 1990年2月

日本医学図書館協会発行)

② 東北大学附属図書館総務課 システム管理係長
佐藤義則

論文名「T-LINES：東北大学附属図書館の蔵書検索システム」

(オンライン検索 10 (3) 1989年9月 日本端末研究会 (東京) 発行)

2) 永年勤続表彰者について

永年勤続表彰規程第2項「協議会の運営のために功績顕著であった者」の適用を受け、表彰された方がこれまでいたのか伺いたい。

これに対し、事務局から次のとおり回答があった。

① 第2項を適用して表彰したということは過去3年間はなかった。

② 過去に遡って調査してみると、第1項(20年以上勤続した者)を適用して表彰しているのがほとんどだと思われる。

事務局回答の後、出席者から、平成12年度の該

- 当者のうち東北工業大学の大森事務長は退職されるときに、協議会への貢献があったということで第2項の適用を受け表彰されたのではという発言があった。
- 学術奨励規程の改正については、各部会から受賞者を毎年出せるように改正するべきであるとの意見が出され、今後、幹事館会議において、規程の見直しを検討することとした。
- また、各加盟館に事前に規程改正案を提示、意見を徴収し、更に幹事館会議において修正の上、次の総会で最終的に改正を行うこととした
- 表彰規程については、各部会から、意見が種々出されたが、20年以上勤務表彰は、廃止し、東北地区大学図書館協議会に対して貢献した者を表彰すべきであるという意見が大勢であった。
- いずれにしても、現在の東北地区大学図書館協議会表彰規程を見直しすることが必要であり、そのためには、ワーキンググループ等を立上げ検討すべきであるという結論になった。
- 具体的には、幹事館会議において、ワーキンググループ等の立上げを含め規程の見直しを検討することとした。
- また、総会で意見が錯綜することのないように、ある程度成案を提示していただきたいとの要望も出された。

次期当番館あいさつ

岩手県立大学メディアセンター長 細江 達郎

この伝統ある、東北地区大学図書館協議会は、来年は62回だそうで、先ほど表彰された方の経歴を見ていたら、その方々の生まれたころに設立されているという大変歴史のある会であることを改めて感じさせられました。

私どもの岩手県立大学は、平成10年に創設の新参大学であります。岩手で引き受けるということになると、当番大学としては私どもだけやっていないようですので、お引き受けすべきものと考えております。

岩手県立大学では、図書館と言わずに、メディアセンターと言っています。私は、メディアセンター長をやつております細江であります。よろしくお願ひします。

なお、この会は、来年度私どもが当番館ということになりますが、今お話しありましたように、常任幹事館、あるいは幹事館等で運営をしていただいておるということで、私どもといたしましては、今日いろいろ勉強させていただきましたので、総会をどのように運営するかということについて考えていただきたいと思っております。そのためには、皆様方の絶大なるご協力をいただかなければ、と思っております。また、今日は、随分議論が出来まして、来年度の総会のときにどうなるかなと若干心配をしておるわけでありますが、その辺のところは幹事館の皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

私どもの大学は、盛岡のちょっと先の隣の滝沢村というところにあるのであります。盛岡は青森、秋田、仙台はもちろんですけれども、山形、それから福島にもそれほど時間的には距離が大体似たようなところだというふうに思っておりますので、ぜひ多くの皆様にお集まりいただきたいと思っております。一同お待ちしておりますので、よろしくお願ひします。

日程につきましては、これは幹事館の方でいろいろお決めいただくのだろうと思いますけれども、毎年、同じころに開催されるというふうに伺っておりますので、これは私の方で言っていいかどうかわかりませんけれども、9月の第3木曜日あたりなるのではないかと思われます。多くの方々がお集まりいただくことをお願いして、ございさつとかえさせていただきます。どうもありがとうございました。

閉会のあいさつ

宮城大学総合情報センター長 久恒 啓一

第61回の図書館協議会の総会、全体会と、それから部会も含めて無事終わりました。

ほとんど全部議案は終了したものと考えております。

私自身は特に部会での議論が非常に参考になりましたし、私どもは21年度から独立行政法人化するわけですが、先に独立行政法人化された先輩方のお話を伺いました。予算の取り方とか、議会とのつき合い方とか、それからいろいろ学内での立ち位置の持ち方とか、いろんな秘訣をいただきましたので、大変参考になりました。

それから、冒頭申し上げたように、蔵書の数をどうやって増やしたらいいかなと私個人的に悩んでいますけれども、それについても各大学の方は処分に困っている本も実はあるということで、情報を交換すれば少し道があるのかなという感じもして、大変参考になっております。

今回の協議会は、幹事館で宮城教育大学、岩手医科大学、東北学院大学の方々に、準備等大変熱心にやっていただきました。どうもありがとうございました。

来年は岩手県立大学ということなので、皆さんまた来年ぜひよろしくお願ひしたいと思います。これを持ちまして閉会のごあいさつといたします。

今日は、どうもありがとうございました。

第61回東北地区大学図書館協議会総会出席者名簿

(国 立)

No.	大 学 図 書 館 名	職 名	氏 名
1	弘 前 大 学 附 属 図 書 館	館 長	正 村 和 彦
2	弘 前 大 学 附 属 図 書 館	学 術 情 報 部 長	諏 訪 田 義 美
3	弘 前 大 学 附 属 図 書 館	学 術 情 報 課 長	五十嵐 輝 雄
4	岩 手 大 学 情 報 メ デ ィ ア セン ター 図 書 館	副 館 長	井 上 祥 史
5	岩 手 大 学 情 報 メ デ ィ ア セン ター 図 書 館	情 報 メ デ ィ ア 課 長	小 野 寺 直 樹
6	岩 手 大 学 情 報 メ デ ィ ア セン ター 図 書 館	図 書 館 資 料 管 理 グ ル ピ ー ブ 主 査	竹 谷 隆 則
7	東 北 大 学 附 属 図 書 館	館 長	野 家 啓 一
8	東 北 大 学 附 属 図 書 館	事 務 部 長	北 村 明 久
9	東 北 大 学 附 属 図 書 館	総 務 課 長	菅 原 英 一
10	東 北 大 学 附 属 図 書 館	総 務 課 課 長 補 佐	高 橋 信 野
11	東 北 大 学 附 属 図 書 館	医 学 分 館 事 務 長	熊 谷 功
12	宮 城 教 育 大 学 附 属 図 書 館	館 長	青 木 守 弘
13	宮 城 教 育 大 学 附 属 図 書 館	図 書 館 専 門 員	菅 原 淑 子
14	秋 田 大 学 附 属 図 書 館	館 長	石 川 三 佐 男
15	秋 田 大 学 附 属 図 書 館	事 務 長	伊 藤 重 範
16	山 形 大 学 附 属 図 書 館	館 長	芦 立 一 郎
17	山 形 大 学 附 属 図 書 館	学 術 情 報 部 長	友 光 健 二
18	山 形 大 学 附 属 図 書 館	学 術 情 報 部 ユ ニ ッ ト 長	加 藤 信 哉
19	福 島 大 学 附 属 図 書 館	事 務 長	古 川 由 照
20	福 島 大 学 附 属 図 書 館	専 門 員	小 榎 正 行

(公 立)

No.	大学図書館等名	職 名	氏 名
1	青森県立保健大学附属図書館	主 査	小野由美
2	岩手県立大学メディアセンター	メディアセンター長	細江達郎
3	岩手県立大学メディアセンター	メディアセンター長補佐	板垣完一
4	岩手県立大学メディアセンター	主 査	福田 隆
5	岩手県立大学メディアセンター	主 事	川村明子
6	宮城大学総合情報センター	センター長	久恒啓一
7	宮城大学総合情報センター	副センター長	中塙晴夫
8	宮城大学総合情報センター	副センター長	佐藤義明
9	宮城大学総合情報センター	企画情報班長	竹岡純一
10	宮城大学総合情報センター	総務企画班長	鈴木晴夫
11	秋田県立大学図書・情報センター	図書・情報センター長	森宏一
12	秋田県立大学図書・情報センター	シニアスタッフ	小松鋼紀
13	国際教養大学図書・情報センター	図書・情報センター長	勝又美智雄
14	山形県立保健医療大学附属図書館	館 長	山下隆夫
15	山形県立米沢女子短期大学附属図書館	館 長	嶋崎伸一
16	会津大学情報センター附属図書館	情報センター事務長	菊地秀明
17	公立大学法人福島県立医科大学附属学術情報センター	主任 主査	斎藤博
18	公立大学法人福島県立医科大学附属学術情報センター	副主任 司書	西戸雅博

(私 立)

No.	大 学 図 書 館 名	職 名	氏 名
1	青森大学・青森短期大学附属図書館	館 長	菅 勝彦
2	八戸大学・八戸短期大学図書館	司書(事務室長)	小 松 良重
3	八戸工業大学図書館	館 長	野 田 英彦
4	八戸工業大学図書館	事 務 職 員	藤 卷 利 男
5	岩手医科大学附属図書館	分 館 長	渡 部 貞 昭
6	岩手医科大学附属図書館	事 務 員	芳 賀 真理子
7	富士大学図書館	課 長	井 手 俊 一
8	盛岡大学図書館	事 務 室 長	八 木 融 子
9	修紅短期大学図書館	教 授	大 堀 均
10	仙台大学附属図書館	館 長	阿 部 武 彦
11	仙台白百合女子大学図書館	館 長	大 本 泉
12	仙台白百合女子大学図書館	事 務 長	生 出 登
13	石巻専修大学図書館	館 長	山 川 紀 夫
14	石巻専修大学図書館	課 長	石 川 栄 一
15	石巻専修大学図書館	主 任	相 澤 浩 美
16	東北学院大学中央図書館	館 長	佐 藤 司 郎
17	東北学院大学中央図書館	図書情報課長	三 浦 陸
18	東北学院大学中央図書館	図書館職員	須 田 充 彦
19	東北工业大学附属図書館	事 務 長	須 田 正 紀
20	東北福祉大学図書館	館 長	及 川 三千男
21	東北福祉大学図書館	課 長	石 田 信 孝
22	東北文化学園大学総合情報センター図書館	総合情報センター長	山 崎 恭 平
23	東北文化学園大学総合情報センター図書館	司 書	結 城 紀 子
24	東北薬科大学附属図書館	事 務 部 長	高 橋 誠 一
25	宮城学院女子大学図書館	館 長	田 中 和 夫
26	宮城学院女子大学図書館	事 務 室 長	大 坂 田 茂子
27	聖和学園短期大学図書館	図 書 館 員	安 田 明 華
28	羽陽学園短期大学附属図書館	館 長	田 中 ふみ子
29	いわき明星大学図書館	館 長	前 田 好 美
30	いわき明星大学図書館	図書館グループ長	吉 田 裕 樹
31	奥羽大学図書館	課 長	伊 藤 喜 章
32	郡山女子大学図書館	図 書 係 長	和 知 剛
33	昌平図書館(東日本国際大学・いわき短期大学)	主 任	小 林 陽 子
34	日本大学工学部図書館	図書館事務課主任	大 竹 道 代

図書館統計年報

(1) 建物・職員数・蔵書状況及び図書費

(平成 18 年 3 月 31 日現在)

図書館名	建物 延面積	職員数		蔵書冊数				平成 16 年度増加冊数			平成 17 年度 図書 購入費	
		図書館職員	内臨時職員	和書	洋書	計	内開架図書	内指定図書	和書	洋書		
弘前大学	6,102	21	10	471,649	154,980	626,629	108,776	—	8,190	1,477	9,667	27,647
(〃医学部分館)	1,364	8	3	63,409	70,077	133,486	29,960	—	1,180	1,676	2,856	4,448
(〃医学部分室)	317	3	2	39,016	4,894	43,910	—	608	75	683	2,026	
岩手大学	9,088	23	8	645,323	190,334	835,657	183,839	12,996	8,730	1,795	10,525	90,942
東北大学	18,215	51	25	1,352,770	1,096,526	2,449,296	163,134	—	20,245	13,440	33,685	253,817
〃医学分館	4,476	20	11	160,280	255,525	415,805	415,805	—	3,033	3,121	6,154	14,688
〃北青葉山分館	3,356	10	6	72,857	286,891	359,748	324,149	—	814	3,052	3,866	122,340
〃工学分館	5,355	17	6	148,875	168,567	317,442	317,442	—	3,533	2,143	5,676	30,064
〃農学分館	1,279	6	2	70,678	59,041	129,719	84,496	—	821	407	1,228	3,231
宮城教育大学	2,934	10	3	276,680	48,339	325,019	191,058	—	5,464	350	5,814	13,886
秋田大学	4,493	19	10	284,664	108,472	393,136	78,042	—	3,959	789	4,748	16,486
〃医学部分館	1,648	8	5	42,486	55,713	98,199	—	—	1,291	1,088	2,379	6,225
山形大学	7,626	19	7	501,951	177,190	679,141	141,141	—	7,906	1,781	9,687	42,786
〃医学部分館	1,195	5	2	34,707	68,014	102,721	102,721	—	809	166	975	8,458
〃工学部分館	3,290	6	3	111,610	53,932	165,542	1,083	—	1,255	630	1,885	14,564
〃農学部分館	969	3	1	72,000	17,003	89,003	10,278	—	1,002	223	1,225	4,579
福島大学	7,218	14	0	581,915	219,756	801,671	110,534	—	11,803	2,073	13,876	89,745
青森公立大学	3,337	4	2	87,268	38,384	125,652	125,652	1,249	3,749	386	4,135	22,910
青森県保健大	1,850	5	3	59,626	22,366	81,992	81,992	—	3,868	304	4,172	15,771
岩手県立大学	6,425	7	5	160,827	45,849	206,676	—	—	8,103	△ 5804	2,299	35,342
宮城大学和キャンパス	2,912	6	4	55,958	13,449	69,407	55,228	298	2,682	100	2,782	12,571
〃太白キャンパス	943	5	3	30,459	4,041	34,500	28,554	78	5,343	985	6,328	36,553
秋田県立大学	4,867	10	5	81,998	25,846	107,844	—	—	4,681	981	5,662	26,906
秋田公美工短	1,194	11	0	24,755	6,576	31,331	25,064	—	1,369	312	1,681	6,173
国際教養大学	1,973	5	3	10,452	38,832	49,284	—	—	1,936	940	2,876	16,475
山形保健医大	890	4	3	42,957	6,201	49,158	—	—	2,142	140	2,282	7,206
米沢女子短大	1,144	4	2	89,230	6,138	95,368	95,368	—	1,231	7	1,238	3,131
会津大学	2,446	9	3	54,166	69,707	123,873	99,771	—	-550	-1,295	-1,845	3,240
会津大学短大	443	1	0	62,496	7,353	69,849	—	—	538	2	540	1,272
福島県立医大	3,400	12	0	109,828	89,016	198,844	185,013	—	2,473	1,069	3,542	7,573
青森大学	2,150	5	0	124,432	21,100	145,532	—	—	1,502	120	1,622	8,224
東北女子大学	247	2	0	29,459	4,184	33,643	33,643	—	402	83	485	1,292
八戸大学	1,636	3	1	128,263	12,991	141,254	69,300	926	3,238	287	3,525	5,197
八戸工業大学	2,432	8	0	96,009	25,226	121,235	2,772	—	1,981	172	2,153	10,476
弘前学院大学	1,280	4	0	75,116	18,257	93,373	93,373	200	5,323	1,111	6,434	5,446
岩手医科大学	4,342	13	5	127,688	129,063	256,751	—	—	-178	1,478	1,300	4,958
富士大学	1,661	5	1	128,847	28,039	156,886	45,000	—	5,801	613	6,414	18,835
盛岡大学	2,081	7	2	130,242	21,015	151,257	64,456	—	3,026	224	3,250	10,376
修紅短期大学	206	2	0	22,564	424	22,988	22,988	—	390	0	390	912
岩手看護短大	223	3	3	17,185	2,400	19,585	15,295	700	765	0	765	731
仙台大学	1,120	2	0	73,697	14,631	88,328	50,000	—	3,240	552	3,792	14,866
白百合女子大	756	7	2	63,684	9,183	72,867	63,727	—	2,229	252	2,481	13,187
石巻専修大学	3,495	7	0	90,919	54,094	145,013	—	—	2,180	1,304	3,484	6,482
東北学院大学中央	7,602	39	22	396,061	273,709	669,770	25,168	—	9,715	3,509	13,224	125,740
〃多賀城	2,776	8	4	91,176	55,459	146,635	146,635	—	1,758	884	2,642	17,347
〃 泉	6,100	14	7	174,248	88,386	262,634	174,248	—	6,555	2,922	9,477	56,245
東北工業大学	3,413	7	1	150,957	49,223	200,180	45,773	—	3,487	893	4,380	11,459
東北福祉大学	3,576	15	3	232,182	60,878	293,060	113,808	—	12,054	2,105	14,159	82,831
東北文化学園	1,982	6	1	65,795	13,576	79,371	53,386	—	9,668	461	10,129	6,961
東北薬科大学	1,392	7	2	56,295	39,312	95,607	14,411	—	1,375	1,185	2,560	6,901
宮城学院女大	3,215	7	4	271,101	98,434	369,535	40,151	967	5,707	1,062	6,769	72,196
尚絅学院大学	807	5	3	90,931	19,930	110,861	87,562	442	3,692	219	3,911	16,483
聖和学園短大	428	2	1	49,028	1,279	50,307	30,274	—	647	8	655	2,289
ノースアジア大学	1,689	6	1	142,068	28,247	170,315	85,372	—	2,757	24	2,781	10,267
東北芸工大学	2,466	3	0	88,849	12,209	101,058	101,058	—	3,559	280	3,839	15,171
羽陽学園短大	705.34	2	0	48,262	2,377	50,639	50,639	102	1,442	11	1,453	3,900
山形短期大学	1,533	6	1	94,788	8,096	102,884	66,434	315	2,453	10	2,463	5,848
いわき明星大	3,453	7	4	14,685	49,805	64,490	36,377	—	16,483	1,088	17,571	39,337
奥羽大学	2,635	7	0	136,336	88,162	224,498	224,498	—	2,401	1,187	3,588	13,228
郡山女子大学	1,600	4	0	85,663	13,825	99,488	99,488	—	1,486	179	1,665	2,197
東日本国際大	1,221	4	0	61,112	9,979	71,091	7,109	—	1,659	43	1,702	4,738
日本大工学部	4,695	15	11	211,917	118,849	330,766	330,766	—	3,765	1,887	5,652	23,159
桜の聖母短大	642	2	1	41,435	8,427	49,862	49,862	—	1,064	151	1,215	3,117
福島学院大学	1,990	2	2	71,697	5,399	77,096	77,096	—	2,659	137	2,796	7,377

(2) 利用状況及び文献複写件数

(平成 17 年度分)

図書館名	図書館利用状況										文献複写						
	対象学生数	学生				対象職員数	教職員				学内分	学外分	計				
		館内閲覧		館外貸出			館内閲覧		館外貸出								
		人員	冊数	人員	冊数		人員	冊数	人員	冊数							
弘前大学	人 6,678	人 —	冊 —	人 25,386	冊 39,397	人 2,061	人 —	冊 —	人 1,012	冊 2,282	件 731	件 4,493	件 5,224				
(〃医学部分館)	—	—	—	7,641	12,402	—	—	—	1,228	2,754	343	6,084	6,427				
(〃医学部分室)	—	—	—	8,665	13,910	—	—	—	563	1,195	—	—	—				
岩手大学	人 6,339	人 —	冊 —	—	45,724	812	人 —	冊 —	—	2,713	5,296	3,420	8,716				
東北大学	人 18,500	人 793	冊 1,750	人 56,434	冊 124,322	人 7,462	人 22	冊 92	人 4,397	冊 12,265	件 4,997	件 5,904	件 10,901				
〃医学分館	人 2,339	人 —	冊 —	3,657	4,574	人 2,846	人 —	冊 —	639	2,677	798	41,304	42,102				
〃北青葉山分館	人 3,032	人 —	冊 —	6,616	11,704	人 742	人 —	冊 —	497	1,019	6,267	3,673	9,940				
〃工学分館	人 6,557	人 —	冊 —	16,103	30,782	人 744	人 —	冊 —	1,124	2,700	10,570	3,297	13,867				
〃農学分館	人 1,197	人 —	冊 —	2,672	4,807	人 178	人 —	冊 —	170	277	4,279	2,515	6,794				
宮城教育大学	人 1,778	人 145,686	冊 —	13,840	25,040	人 465	人 —	冊 —	859	1,685	50	495	545				
秋田大学	人 5,025	人 —	冊 —	15,203	28,731	人 2,097	人 —	冊 —	1,069	2,531	1,913	1,687	3,600				
〃医学部分館	人 1,231	人 —	冊 —	8,644	12,886	人 1,052	人 —	冊 —	504	1,025	3,598	6,967	10,565				
山形大学	人 4,680	人 —	冊 —	14,565	28,241	人 851	人 —	冊 —	1,157	2,986	477	2,316	2,793				
〃医学部分館	人 933	人 —	冊 —	3,452	6,999	人 1,159	人 —	冊 —	1,150	2,151	120	3,928	4,048				
〃工学部分館	人 3,372	人 —	冊 —	7,813	14,912	人 304	人 —	冊 —	407	920	66	809	875				
〃農学部分館	人 677	人 —	冊 —	2,560	4,173	人 173	人 —	冊 —	103	215	47	341	388				
福島大学	人 4,556	人 —	冊 —	16,521	37,157	人 612	人 —	冊 —	1,862	6,241	5,541	2,587	8,128				
青森公立大学	人 1,251	人 —	冊 —	11,722	23,159	人 83	人 —	冊 —	505	1,079	98	98	98				
青森県保健大	人 747	人 —	冊 —	11,080	27,243	人 301	人 —	冊 —	1,016	3,249	10,712	2,144	12,856				
岩手県立大学	人 2,362	人 82,752	冊 —	10,014	19,864	人 424	人 5,719	冊 —	686	1,721	—	408	408				
宮城大学大和キャンパス	人 1,563	人 —	冊 —	4,611	19,328	人 306	人 —	冊 —	275	1,659	8,842	2,172	11,014				
〃太白キャンパス	人 1,563	人 —	冊 —	1,365	2,423	人 306	人 —	冊 —	194	748	816	55	871				
秋田県立大学	人 1,625	人 —	冊 —	15,780	31,158	人 316	人 —	冊 —	1,649	4,747	2,904	3,989	6,893				
秋田公美工短	人 325	人 —	冊 —	—	6,674	人 75	人 —	冊 —	—	951	—	38	38				
国際教養大学	人 262	人 —	冊 —	—	3,109	人 82	人 —	冊 —	—	1,052	3,873	50	3,923				
山形保健医大	人 431	人 —	冊 —	5,100	9,182	人 52	人 —	冊 —	447	957	2,041	611	2,652				
米沢女子短大	人 649	人 21,941	冊 —	6,760	7,120	人 102	人 1,512	冊 —	340	772	478	8	486				
会津大学短大	人 1,240	人 —	冊 —	3,421	5,992	人 195	人 —	冊 —	320	788	346	31	377				
会津大学短大	人 346	人 —	冊 —	1,898	3,533	人 145	人 —	冊 —	223	1,594	64	7	71				
福島県立医大	人 1,462	人 —	冊 —	7,519	14,097	人 1,593	人 —	冊 —	1,816	4,390	—	6,651	6,651				
青森大学	人 2,020	人 —	冊 —	—	—	人 136	人 —	冊 —	—	—	687	270	957				
東北女子大学	人 382	人 4,968	冊 —	—	541	人 96	人 1,508	冊 —	—	102	481	8	489				
八戸大学	人 1,218	人 15,895	冊 —	1,820	3,976	人 146	人 847	冊 —	332	1,120	912	329	1,241				
八戸工業大学	人 1,822	人 1,482	冊 1,753	3,696	5,289	人 244	人 11	冊 15	127	354	128	173	301				
弘前学院大学	人 810	人 —	冊 —	3,094	5,724	人 164	人 —	冊 —	938	2,814	259	6	265				
岩手医科大学	人 1,476	人 —	冊 —	3,071	5,608	人 2,718	人 —	冊 —	4,183	11,318	—	—	—				
富士大学	人 1,005	人 69	冊 105	2,531	4,834	人 136	人 42	冊 110	363	1,034	1,910	221	2,131				
盛岡大学	人 2,110	人 29,020	冊 —	6,614	13,865	人 207	人 949	冊 —	366	1,042	2,754	379	3,133				
修紅短期大学	人 228	人 —	冊 —	128	1,580	人 70	人 —	冊 —	20	150	11	11	11				
岩手看護短大	人 247	人 238	冊 423	1,068	1,797	人 28	人 35	冊 81	52	142	—	—	0				
仙台大学	人 2,076	人 —	冊 —	2,538	4,307	人 211	人 —	冊 —	81	176	64	64	64				
白百合女子大学	人 1,286	人 —	冊 —	3,095	5,116	人 266	人 —	冊 —	352	702	200	26	226				
石巻専修大学	人 2,142	人 —	冊 —	4,149	7,669	人 151	人 —	冊 —	572	1,331	—	344	344				
東北学院大学中央	人 12,564	人 —	冊 —	8,481	15,688	人 1,084	人 —	冊 —	1,105	4,066	729	1,095	1,824				
〃多賀城	人 12,564	人 —	冊 —	4,688	9,127	人 1,084	人 —	冊 —	499	1,810	68	466	534				
〃泉	人 12,564	人 —	冊 —	9,471	16,859	人 1,084	人 —	冊 —	1,309	4,963	412	332	744				
東北工业大学	人 3,411	人 —	冊 —	4,470	7,472	人 231	人 —	冊 —	440	997	4,884	51	4,935				
東北福祉大学	人 4,357	人 —	冊 —	16,859	31,981	人 506	人 —	冊 —	577	1,590	604	3,425	4,029				
東北文化学園	人 2,443	人 —	冊 —	13,826	18,788	人 310	人 —	冊 —	706	1,351	4,716	1,565	6,281				
東北薬科大学	人 1,716	人 —	冊 —	2,093	2,687	人 177	人 —	冊 —	747	889	5,660	133	5,793				
宮城学院女大	人 3,500	人 —	冊 —	15,302	25,204	人 441	人 —	冊 —	834	3,051	13	1,609	1,622				
尚絅学院大学	人 1,559	人 —	冊 —	6,264	12,142	人 290	人 —	冊 —	320	802	11	11	11				
聖和学園短大	人 651	人 10,446	冊 —	3,047	4,866	人 136	人 919	冊 —	236	580	3,164	4	3,168				
ノースアジア大学	人 1,064	人 —	冊 —	2,022	4,159	人 263	人 —	冊 —	214	899	119	6	125				
東北芸工大学	人 2,108	人 —	冊 —	8,321	18,205	人 195	人 —	冊 —	650	1,549	3,056	88	3,144				
羽陽学園短大	人 321	人 —	冊 —	—	5,594	人 61	人 —	冊 —	—	484	—	80	80				
山形短期大学	人 805	人 40,492	冊 —	4,361	7,946	人 179	人 —	冊 —	199	726	—	8	8				
いわき明星大	人 2,367	人 —	冊 284	—	13,028	人 256	人 —	冊 16	—	914	910	248	1,158				
奥羽大学	人 1,090	人 37,675	冊 —	2,557	4,365	人 410	人 16,146	冊 —	1,291	2,580	11,712	793	12,505				
郡山女子大学	人 1,421	人 11,930	冊 —	—	3,634	人 222	人 1,507	冊 —	—	1,584	301	19	320				
東日本国際大	人 899	人 11,400	冊 —	1,360	2,172	人 199	人 1,714	冊 —	443	1,389	484	250	734				
日本大工学部	人 4,989	人 159,017	冊 —	10,221	22,069	人 338	人 2,049	冊 —	976	5,404	659	402	1,061				
桜の聖母短大	人 464	人 15,187	冊 —	2,140	4,669	人 93	人 478	冊 —	336	782	—	6	6				
福島学院大学	人 1,258	人 —	冊 —	1,756	3,223	人 109	人 —	冊 —	177	423	84	10	94				

(3) 雑誌・新聞所蔵及び受付種類数・製本冊数

(平成 17 年度分)

図書館名	雑誌・新聞所蔵			受付種類数						雑誌・新聞 購入費	製本費	
				受付数			内購入分					
	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	冊数	金額	
弘前大学	種	種	種	種	種	種	種	種	種	千円	冊	千円
(〃医学部分館)	13,911	3,897	17,808	3,117	444	3,561	577	350	927	36,940	301	485
(〃医学部分室)	3,312	2,489	5,801	677	421	1,098	86	293	379	36,992	1,181	1,955
岩手大学	556	139	695	228	27	255	37	20	57	1,227	113	182
東北大学	7,833	2,090	9,923	5,375	542	5,917	454	385	839	34,763	1,294	2,271
" 医学分館	30,011	29,704	59,715	8,828	6,676	15,504	2,189	4,949	7,138	613,103	14,438	27,453
" 北青葉山分館	4,952	9,770	14,722	1,736	1,499	3,235	655	1,268	1,923	132,302	4,234	7,676
" 工学分館	1,845	6,819	8,664	735	1,248	1,983	132	587	719	96,059	2,344	4,481
" 農學分館	3,522	4,042	7,564	1,379	799	2,178	367	694	1,061	107,084	1,876	3,205
宮城教育大学	3,021	1,661	4,682	1,190	399	1,589	389	251	640	32,962	475	1,014
秋田大学	5,054	775	5,829	1,348	165	1,513	651	135	786	10,695	522	1,093
" 医学分館	5,917	2,648	8,565	1,591	407	1,998	444	403	847	44,494	931	1,525
" 医学部分館	1,492	1,641	3,133	630	299	929	156	253	409	26,985	1,265	2,094
山形大学	9,294	3,083	12,377	2,589	588	3,177	492	410	902	31,563	134	218
" 医学部分館	2,848	2,168	5,016	750	573	1,323	222	373	595	44,658	0	0
" 工学部分館	2,221	1,119	3,340	374	111	485	72	66	138	11,311	356	597
" 農學部分館	1,156	404	1,560	819	46	865	99	41	140	4,885	308	499
福島大学	9,853	3,029	12,882	3,227	589	3,816	599	461	1,060	31,567	2,730	4,505
青森公立大学	227	270	497	227	270	497	189	270	459	2,356	300	596
青森県保健大	743	239	982	584	183	767	312	176	488	20,309	908	2,317
岩手県立大学	963	611	1,574	430	239	669	430	239	669	24,792	967	1,798
宮城大学人和キャンパス	672	359	1,031	382	237	619	324	237	561	21,636	0	0
" 太白キャンパス	217	80	297	174	58	232	143	56	199	9,210	0	0
秋田県立大学	578	599	1,177	407	282	689	373	282	655	34,779	1,336	2,083
秋田公美工短	88	36	124	81	35	116	79	35	114	1,950	0	0
国際教養大学	64	80	144	64	80	144	64	76	140	1,817	0	0
山形保健医大	795	185	980	—	—	—	91	92	183	9,300	346	776
米沢女子短大	165	48	213	146	24	170	103	24	127	2,809	59	124
会津大学	503	805	1,308	282	330	612	128	330	458	42,822	—	—
会津大学短大	166	114	280	79	34	113	79	34	113	2,889	0	0
福島県立医大	4,273	2,903	7,176	1,133	554	1,687	295	458	753	49,774	1,443	2,722
青森大学	169	120	289	169	120	289	123	84	207	18,378	0	0
東北女子大学	314	21	335	443	82	525	47	20	67	2,540	135	269
八戸大学	917	118	1,035	758	71	829	173	60	233	4,440	0	0
八戸工業大学	831	614	1,445	444	194	638	226	190	416	29,214	140	294
弘前学院大学	744	47	791	104	48	152	104	48	152	3,846	88	148
岩手医科大学	4,156	2,651	6,807	1,267	548	1,815	330	386	716	58,715	2,554	4,216
富士大学	3,847	412	4,259	1,368	120	1,488	126	112	238	10,709	944	1,775
盛岡大学	2,304	198	2,502	850	56	906	160	53	213	5,029	14	26
修紅短期大学	60	1	61	60	1	61	44	1	45	281	—	—
岩手看護短大	188	52	240	174	6	180	45	6	51	—	125	262
仙台大学	1,285	177	1,462	107	96	203	107	96	203	7,086	401	761
百合女子大	274	89	363	234	83	317	208	80	288	11,184	280	588
石巻専修大学	1,100	723	1,823	524	595	1,119	482	595	1,077	49,625	1,543	2,885
東北学院大学中央	5,877	1,789	7,666	2,289	435	2,724	313	407	720	26,360	916	1,756
" 多賀城	1,619	1,264	2,883	620	391	1,011	240	367	607	57,519	505	1,023
" 泉	2,325	897	3,222	605	361	966	337	361	698	50,554	939	1,823
東北工業大学	1,107	572	1,679	688	316	1,004	220	296	516	44,188	924	2,080
東北福祉大学	3,683	710	4,393	2,025	344	2,369	507	317	824	29,686	1,096	9,358
東北文化学園	1,151	142	1,293	451	55	506	132	42	174	6,624	288	483
東北薬科大学	455	429	884	214	192	406	48	175	223	61,012	1,422	2,916
宮城学院大学女大	6,046	675	6,721	1,499	257	1,756	372	249	621	23,424	—	315
尚絅学院大学	0	0	0	221	59	280	216	58	274	5,574	102	195
聖和学園短大	76	1	77	228	1	229	65	1	66	643	24	50
ノースアジア大学	1,415	185	1,600	692	92	784	138	92	230	6,427	129	216
東北芸工大学	204	104	308	158	54	212	73	54	127	4,101	—	—
羽陽学園短大	79	11	90	75	6	81	71	6	77	1,120	82	176
山形短期大学	199	39	238	138	16	154	138	16	154	3,057	—	—
いわき明星大	640	368	1,008	226	136	362	217	136	353	20,494	1,016	1,461
奥羽大学	1,064	1,225	2,289	611	250	861	271	215	486	27,854	1,402	2,454
郡山女子大学	869	35	904	185	35	220	174	35	209	4,278	471	791
東日本国際大	204	76	280	555	47	602	98	43	141	5,356	417	787
日本大工学部	1,595	1,329	2,924	505	455	960	425	455	880	56,503	2,079	3,832
桜の聖母短大	112	28	140	84	19	103	80	19	99	1,737	81	153
福島学院大学	80	11	91	80	11	91	76	11	87	2,084	36	76

協議会総会会場一覧

回	年	所在地	会 場 大 学	備 考	回	年	所在地	会 場 大 学	備 考
1	昭和 22	宮城 仙台	東北大学校 工業専門学校		33	53	福島	島大	学
2	"	"	東北学院大学		34	54	宮城	東北福祉	大学
3	23	"	東北大		35	55	秋田	秋田大	学
4	24	"	東北大		36	56	山形	山形大	学
5	25	岩手	岩手大		37	57	宮城	宮城学院	女子大学
6	26	山形	山形大		38	58	青森	弘前大	学
7	27	青森	弘前大		39	59	岩手	弘前医	科大
8	28	福島	福島大		40	60	宮宮	東北大	学
9	29	秋田	秋田大		41	61	福島	福島県立	医科大学
10	30	宮城	宮城学院	女子大学	42	62	秋田	秋田大	学
11	31	岩手	岩手医	科大	43	63	宮城	東北学院	大学
12	32	山形	山形大		平成		山形	山形大	学
13	33	秋田	秋田大		44	元	青森	弘前大	学
14	34	青森	弘前大		45	2	宮城	石卷專修	大学
15	35	福島	福島県立	医科大学	46	3	岩手	富士大	学
16	36	宮城	東北大	学	47	4	福島	郡山女子	大学
17	37	岩手	岩手大	学	48	5	宮城	東北薬科	大学
18	38	福島	福島大	学	49	6	秋田	秋田経済法科	大学
19	39	宮城	東北学院	大	50	7	山形	山形大	学
20	40	秋田	秋田大	学	51	8	宮宮	東北工業	大学
21	41	山形	山形大	学	52	9	青森	青森公立	大学
22	42	宮城	東北薬科	大	53	10	森森	盛岡大学・盛岡大学短期大学部	
23	43	青森	弘前大	学	54	11	岩宮	宮城教育	大学
24	44	岩手	奥州大	学	55	12	宮宮	奥羽大	学
25	45	宮城	東北工業	大	56	13	福島	秋田県立	大学
26	46	福島	福島県立	医科大学	57	14	秋宮	東北福祉	大学
27	47	秋田	秋田経済	大	58	15	宮山	東山形	大
28	48	宮城	宮城教育	大	59	16	青森	青森大学・青森短期大学	
29	49	山形	山形大	学	60	17	宮城	宮城大	学
30	50	青森	弘前大	学	61	18	岩岩		
31	51	宮城	東北大	学	62	19	福宮		
32	52	岩手	岩手大	学	63	20	宮宮		
					64	21	島城		

※ 第57回総会において第59回から第64回までの当番地区が確認された。

東北地区大学図書館協議会役員館一覧

	常任幹事館	幹事館	会計監査館	論文審査館
	(国立)	(公立)	(私立)	(国立)
				(公立)
第44回総会 (H1.9～H3.8)	東北大 東北大 弘前大学	福島県立医科大学 盛岡大学 東北学院大学	宮城県農業短期大学 東北福祉大学	岩手県立盛岡短期大学 福島県立会津短期大学 東北大学 弘前大学
第46回総会 (H3.9～H5.8)	東北大 東北大 東北大 岩手大学	福島県立会津短期大学 宮城学院女子大学 石巻専修大学	宮城県農業短期大学 東北福祉大学	福島県立医科大学 山形県立米沢女子短期大学 東北大学 岩手大学
第48回総会 (H5.9～H7.8)	東北大 東北大 東北大 官城教育大学	会津大学短期大学部 東北福祉大学 いわき明星大学	宮城県農業短期大学 東北学院大学	福島県立医科大学 秋田県立農業短期大学 東北大学 官城教育大学
第50回総会 (H7.9～H9.8)	東北大 東北大 東北大 秋田大学	会津大学 東北薬科大学 富士大学	宮城県農業短期大学 宮城学院女子大学	福島県立医科大学 岩手県立宮古短期大学 東北大学 秋田大学
第52回総会 (H9.9～H11.8)	東北大 東北大 東北大 福島大学	会津大学 八戸工業大学 東北工業大学	宮城県農業短期大学 宮城学院女子大学	福島県立医科大学 岩手県立宮古短期大学 東北大学 福島大学
第54回総会 (H11.9～H13.8)	東北大 東北大 東北大 山形大学	福島県立医科大学 秋田経済法科大学 東北文化学園大学	山形県立米沢女子短期大学 宮城学院女子大学	秋田県立大学 秋田公立美術工芸短期大学 東北大学 山形大学
第56回総会 (H13.9～H15.8)	東北大 東北大 東北大 弘前大学	山形県立保健医療大学 仙台百合女子大学 秋田経済法科大学	秋田県立大学 仙台百合女子大学	宮城大学 宮城県農業短期大学 東北大学 弘前大学
第58回総会 (H15.9～H17.8)	東北大 東北大 東北大 岩手大学	秋田県立大学 宮城学院女子大学 いわき明星大学	宮城学院女子大学 岩手大学	仙台白百合女子大学 岩手大学 東北大学 弘前大学
第60回総会 (H17.9～H19.8)	東北大 東北大 東北大 官城教育大学	宮城大学 岩手医科大学	東北学院大学 岩手県立大学	青森県立保健大学 岩手県立大学 東北大学 官城教育大学
				仙台大学 郡山女子大学 仙台大学 郡山女子大学

東北地区国立大学図書館防災連絡網設置要項

平成12年4月20日 第31回
国立大学図書館東北地区協議会決定
平成16年4月22日 第35回
東北地区国立大学図書館協会改正

(目的)

第1条 東北地区国立大学図書館協会会則（以下「会則」という。）第2条に定める会員（以下「会員」という。）において地震等による激甚な災害が発生した際、会員における図書館業務の維持に関し、会員間の連絡調整を行うため東北地区防災連絡網（以下「地区防災連絡網」という。）を設置する。

(地区防災連絡網)

第2条 地区防災連絡網は会員により構成し、会員間の連絡調整を行うため地区防災連絡館を置く。

2 地区防災連絡館は、国立大学図書館協会の東北地区理事館を充て、地区連絡館が被災した場合は、東北地区国立大学図書館協会総会の当番館がこれに代わるものとする。

(地区防災連絡館)

第3条 災害発生時における被災館との連絡は、情報の混乱等をさけるため地区防災連絡館が必要な間、集約的に行う。但し、会員における固有の連絡は、この限りとしない。

2 災害発生から被災館が復旧するまでの間、相互利用等会員間に共通する日常業務の維持に関して、協議の必要が生じた場合は、地区防災連絡館が調整を行う。

3 地区防災連絡館は、地区防災連絡網の確認及び会員の防災意識を高めるため、原則として年1回以上の連絡訓練を行うものとする。

4 地区防災連絡館は、必要がある場合は、国立大学図書館協会の他地区防災連絡館等との連絡にあたるものとする。

5 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会の公立大学及び私立大学の代表との連絡窓口になるものとする。

(会員の連絡窓口の設置)

第4条 会員に連絡窓口を置く。

2 連絡窓口に変更があった場合は、地区防災連絡館に連絡するものとする。

(雑則)

第5条 この要項に定めるもののほか、地区防災連絡網に関する必要な事項は、会則第5条に定める会議において定める。

附則

この要項は、平成12年4月20日から施行する。

附 則

- 1 この要項は、平成16年4月22日から施行する。
- 2 第2条2項の規定において、東北地区理事館と東北地区国立大学図書館協会総会の当番館が重複した場合、地区防災連絡館は会則第5条に定める総会において決定する。

東北地区大学図書館協議会公立部会防災連絡網設置要項

平成12年9月20日

東北地区大学図書館協議会（公立部会）

（目的）

第1条 東北地区大学図書館協議会公立部会加盟館（以下「公立部会加盟館」という。）において地震等による激甚な災害により被災した際、公立部会加盟館における図書館業務の維持に関し、公立部会加盟館間の連絡調整を行うため東北地区防災連絡網（以下「地区防災連絡網」という。）を設置する。

（地区防災連絡網）

第2条 地区防災連絡網は、公立部会加盟館により構成し、公立部会加盟館間の連絡調整を行うため地区防災連絡館を置く。

2 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会公立部会幹事館（以下「公立部会幹事館」という。）を充て、公立部会幹事館が被災した場合は、公立部会会計監査館がこれに代わるものとする。

（被災館）

第3条 地震等による激甚な災害に被災した公立部会加盟館（以下「被災館」という。）は、被災状況等を地区防災連絡館へ連絡するものとする。

（地区防災連絡館）

第4条 災害発生時における被災館との連絡は、情報の混乱を避けるため地区防災連絡館が必要な間、集約的に行う。ただし、個々の公立部会加盟館における固有の連絡は、この限りとしない。

2 災害発生から被災館が復旧するまでの間、相互利用等公立部会加盟館に共通する日常業務の維持に関して協議の必要が生じた場合は、地区防災連絡館が調整を行う。

3 地区防災連絡館は、地区防災連絡網の確認及び公立部会加盟館の防災意識を高めるため、原則として年1回以上の連絡訓練を行うものとする。

4 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会加盟の国立部会及び私立部会の代表との連絡窓口になるものとする。

（会員の連絡窓口の設置）

第5条 公立部会加盟館に連絡窓口を置く。

2 連絡窓口に変更があった場合は、地区防災連絡館に連絡するものとする。

（雑則）

第6条 この要項に定めるもののほか、地区防災連絡網に関する必要な事項は、東北地区大学図書館協議会公立部会総会において定めるものとする。

附則

この要項は、平成12年9月20日から施行する。

東北地区大学図書館間相互利用手続き申し合わせ

(平成14年9月20日)

東北地区大学図書館協議会

第56回総会の協議結果を尊重し、東北地区大学図書館協議会に加盟する各大学図書館は、「国公私立大学図書館間相互貸借に関する協定」の目的にある「図書館間の相互貸借の円滑化を図り、もってわが国の学術研究・教育の進展に寄与すること。」の精神を生かし、以下を目標として努力する。

記

1. 来館利用の際の持参書類については、従来必要とした、「利用依頼書・閲覧許可願」等に代り、所属大学発行の「身分証明書」、「学生証」等の本人確認が可能なものの提示により利用を可能とすること。
2. 各大学それぞれの事情があり（例：女子大学の場合における男子学生の入構等）、また、確実に資料を入手するためにも事前連絡は必要と思われるが、急な来館についても、受入館はできるだけのサービスを行うこと。
3. 相互利用を円滑に行うため、各館は所属する研究者、学生に対して相互利用手続きに関する十分な利用者教育を行うこと。
4. 相互利用を円滑に行うため、各館は「図書館間相互協力便覧」に利用上の留意事項を明記するとともに、各館のホームページ上の利用案内においても明記すること。

東北地区大学図書館協議会会則

昭和22年5月30日制定

昭和24年12月2日制定（全改）

改正：昭和28年11月13日（第1条（名称）改正）、昭和29年6月11日（第7条（会費）、第8条（票決権）改正）、昭和31年10月5日（第6条（監査館）追加）、昭和33年10月7日（第5条（顧問）追加）、昭和34年8月4日（第9条（会費）改正）、昭和39年7月9日（第9条（会費）改正・同第2項（会計年度）制定）、昭和43年5月10日（第9条（会費）改正）、昭和46年5月13日（第9条（会費）改正）、昭和50年5月16日（第2条（加盟組織の追加）改正）、昭和53年10月19日（第9条（会費・会計年度）改正）、昭和56年10月22日（第6条（幹事館を追加）改正）、昭和61年9月25日（第9条（会費）改正）、平成3年9月26日（第9条（会費）改正）、平成6年9月21日（第9条（会費）改正）

第1条 本会は東北地区大学図書館協議会と称する。

第2条 本会は東北地区における大学および国立工業高等専門学校に附属する図書館をもって組織し、図書館の施設、運営、管理などの進歩改善について、相互に連携協力することを目的とする。

第3条 本会は毎年1回、加盟館輪番により総会を開催する。但し必要に応じ、加盟館過半数の賛成を得て、臨時総会を開くことができる。

第4条 本会の目的を達成するため、隨時図書館に関する講習会の開催、その他必要と認める事業を行うものとする。

第5条 本会に顧問を置くことができる。

顧問はかつて加盟館に在籍し、本会において特に顕著なる功績のあった者の中から、総会においてこれを推薦する。

顧問は総会に出席し、また隨時意見を述べることができる。

第6条 本会に常任幹事館、及び幹事館若干を置く。

1. 常任幹事館、幹事館は幹事会を組織し、協議会の運営にあたる。

2. 幹事会は毎年少なくとも1回招集するものとする。

3. 常任幹事館は協議会の会務を処理し、幹事会を招集する。

4. 常任幹事館、幹事館は総会において互選によってこれを定め、その任期を2ヶ年とする。但し、重任することができる。

第7条 本会の会計事務を監査するため若干の監査館をおく。監査館は総会において互選によってこれを定め、その任期を2ヶ年とする。但し、重任することができる。

第8条 本会の事務所は、常任幹事館内におく。

第9条 本会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。会費は年額15,000円とする。

2. 本会の会計年度は毎年9月1日にはじまり、翌年8月31日に終わる。

第10条 総会の票決権は1館につき1票とし、議決は出席館過半数の賛成を要する。

第11条 本会則は総会の議決によらなければこれを変更することができない。

本会則は昭和24年12月2日から施行する。

附 則（昭和53年10月19日第33回総会）

この改正による会則は、昭和53年10月19日から施行し、昭和54年9月1日から適用する。

附 則（昭和56年10月22日第36回総会）

この改正による会則は、昭和56年10月24日から施行し、昭和56年10月24日から適用する。

附 則（昭和61年9月25日第41回総会）

この改正による会則は昭和61年9月27日から施行する。

附 則（平成3年9月26日第46回総会）

この改正による会則は平成3年9月26日から施行する。

附則（平成6年9月21日第49回総会）
この会則は平成6年9月21日から施行する。

○第38回東北地区大学図書館協議会総会議事録（抄）

昭和58年9月29日～30日（会場：弘前大学）

全体会議（第1日）

6. 役員の改選について

常任幹事館から、役員の任期（2年）が今年度で満了となるため、次期役員館選出について提案がなされた。これは、幹事館が国立2館、公立1館、私立2館の計5館で、うち1館が常任幹事館となる。会計監査館は公立1館、私立1館で、学術奨励論文審査委員館は、国・公・私立各2館の計6館となる。以上について各部会で検討し、選任の上全体会議で取りまとめることにした。又、会計監査館については、常任幹事館を決め、それに近い大学を推薦願いたいとの提案があり承認された。

東北地区大学図書館協議会表彰規程

昭和38年6月20日制定

改正：昭和57年10月14日（第2条（退職による表彰）・第3条（幹事会で選考）改正）、昭和61年9月25日（第3条（表彰を早める）改正）、平成3年9月26日（第3～5条（退職時の表彰）改正）

（趣旨）

第1条 東北地区大学図書館協議会（以下協議会という）会則第4条に基づき加盟館の職員に対して行う表彰はこの規程の定めるところによる。

（表彰を受ける者）

第2条 前条の表彰は次の各項のいずれかによる。

1. 退職の日において、加盟館への勤務年数が20年以上になりかつ、図書館のために貢献した者。
2. 協議会の運営のために功績顕著であった者。

（表彰の方法）

第3条 表彰は協議会の常任幹事館の長が表彰状を授与して行う。但し、場合によっては常任幹事館の長に代り、表彰を受ける者の属する図書館の長が行うことができる。

2. 表彰に際しては、表彰状に併せて記念品を贈呈することができる。

（表彰の承認）

第4条 第2条の定めによる表彰は、表彰を受ける者が属する図書館の長、又は、加盟館の推せんに基づき、幹事会の承認を経るものとする。

2. 前項による推せんは、所定の様式により、その年の12月末までに常任幹事館に申請する。

（表彰を行う日）

第5条 表彰は表彰を受ける者が希望する、次の各号に掲げるいずれかの日に行う。

- 一 協議会総会の日
- 一 表彰を受ける者が退職する日

（規程の改正）

第6条 この規程の改正は、協議会の議決によって行う。

附 則

この規程は昭和38年6月20日より実施する。

附 則

この改正による規程は昭和57年10月14日より実施する。

附 則

この改正による規程は昭和61年9月27日より実施する。

附 則

この規程は平成3年9月26日から実施する。

(別紙)

平成 年度永年勤続表彰者推薦調書

氏 名	大学名 :
生年月日	
推薦理由	
略歴	
推薦者名	

○第43回東北地区大学図書館協議会総会議事録（抄）

昭和63年9月21日～22日（会場：東北学院大学）

全体会議（第1日）

3) 協議事項

追加議題

議長（渡部）

もう1件連絡があるそうでございます。

笠原課長（東北大・総務課長）

……追加といいますか説明をさせていただきたいことがございます。……

……つまり表彰規程の解釈のことであります。第2条第1号に勤務期間というものがありますがこれは20年以上であるということです。それならば、勤務期間とは何をさすのか、どういう計算の仕方をするのかというところが、問題になっていたようであります。これにつきまして、今年の幹事会におきまして、勤務期間は要するに通算して勤務の都合で間があいておれば、それぞれ足して20年以上になれば表彰の該当者であるということになります。それと、一ヶ月の計算で参りますので、月の末日と始めて該当した場合でも同じ一ヶ月に計算いたします。そういうことですから、19年と11ヶ月と1日でも、20年あるという計算になります。

それから退職には死亡退職はどうなるんだろうかということがございましたが、当然死亡された方も含まれます。それから、加盟館を退職しましたけれども、更に他の加盟館に現に在職している場合は、その方が最終的に退職したときに該当させることに意見を統一しております。それから、いったん表彰された方が次の加盟館で20年以上あるという方は、一回表彰を受けたということによって後は表彰しないことに意見を統一しております。

これらの件をご報告しておりませんでしたので追加させていただきたいと思います。

東北地区大学図書館協議会学術奨励規程

制定 昭和40年6月2日
全改 平成2年9月20日

(目的)

第1条 東北地区大学図書館協議会（以下協議会という。）会則第4条に規定する事業として、学術奨励を行う。
2. 学術奨励は、加盟館の職員（以下『職員』という。）並びに職員のグループによる図書館に関する論文等に対し、『学術奨励賞』を贈るものとする。

(授賞対象)

第2条 学術奨励賞は、前年度（4月から3月まで）に公刊された論文、或は公的集会における発表、又は図書館業務に関する報告（以下『論文等』という。）等で、次の各号の一に該当するものを対象とする。

- (1) 図書館及び図書館情報学、或は書誌学等に関するもので、斯学の発展に寄与するもの
- (2) 図書館活動に関する事例報告等で、業務の研鑽、専門職としての自覚を促すもの

(審査委員会)

第3条 論文等の審査は、審査委員会が行う。

2. 審査委員会は、加盟館の互選による審査委員館若干をもって組織する。
3. 審査委員会に主査館を置き、審査委員館の互選による。
4. 審査委員会は、必要に応じ学識経験者の意見を徴することができる。
5. 審査委員館の任期は、2年とする。

(審査の手続等)

第4条 審査の手続等については、別に定める。

(表彰)

第5条 表彰は、協議会総会において行う。

(その他)

第6条 本規程の改正は、総会の議決によらなければならない。

附 則

1. この規程は、平成2年9月20日から施行する。
2. 東北地区大学図書館協議会学術奨励規程（昭和40年制定）は、廃止する。

学術奨励賞候補論文等審査取扱要項

制定 昭和40年6月2日
全改 平成2年9月20日

(目的)

第1条 学術奨励規程第4条に規定する候補論文等の審査の手続等については、この要項の定めるところによる。

(推薦)

第2条 各加盟館は、学術奨励規程第2条に該当すると認められる論文等に推薦調書（別紙）を添え、その年の5月末日までに常任幹事館に推薦するものとする。

第3条 常任幹事館は、候補論文等及び推薦調書（各写）を審査委員会主査館に送付し、審査を依頼するものとする。

(審査の方法)

第4条 審査は、会議又はその他の方法による。

第5条 論文等を推薦した館は、審査には加わらない。

第6条 管理職の地位にある者の論文等は、授賞の対象にはしない。

第7条 審査委員会は、審査結果を文書にてその年の7月末日までに常任幹事館に通知するとともに、総会において報告するものとする。

(授賞論文等の公表)

第8条 授賞論文等は、その授賞事由、論文等の概要等を協議会誌に公表するものとする。

附 則

1. この要項は、平成2年9月20日から施行する。
2. 図書館論文審査取扱規程（昭和40年制定）は、廃止する。

(別紙)

平成 年度学術奨励賞候補論文推薦調書

大学名：

論文タイトル	
発表年月日 発表集会等名	
掲載誌巻号 発行年月日 発行機関	
発表者 又は著者名	
図書館業務歴	
論文の概要	
該当条項	第一條 第一項
推薦事由	

記念事業基金積立要綱

昭和57年10月14日制定

当協議会が記念事業を将来行うに必要な基金のために、年度予算に一定積立として計上し、積立てる。

1. 年度の積立金額は、その年度会費総額の10%を限度とする。
2. 期間は昭和57年度からとし、総会の議決により記念事業を行う予定の年度までとする。
3. 積立方法は、金融機関に口座を設け積立てる。
4. その支出については、総会の議決を経なければならない。
5. その会計事務は監査をうけ、総会に報告する。

加盟館職員名簿

(平成19年4月1日現在)

【弘前大学附属図書館】

電話番号 (0172) 39-3155
FAX番号 (0172) 39-3171
館長 (併)教授 正村和彦
事務責任者 学術情報部長 謙訪田義美

【岩手大学情報メディアセンター図書館】

電話番号 (019) 621-6082
FAX番号 (019) 621-6088
情報メディアセンター長 学術担当理事・副学長 齋藤徳美
事務責任者 情報メディア課長 村田藤雄

【東北大学附属図書館】

電話番号 (022) 795-5911
FAX番号 (022) 795-5909
館長 (併)教授 野家啓一
副館長 (併)教授 倉本義夫
事務責任者 事務部長 北村明久

【東北大学附属図書館医学分館】

電話番号 (022) 717-7973
FAX番号 (022) 717-7982
分館長 (併)教授 佐藤洋
事務責任者 事務長 山越隆男

【東北大学附属図書館北青葉山分館】

電話番号 (022) 795-6368
FAX番号 (022) 795-3753
分館長 (併)教授 高木泉
事務責任者 管理係長 阿部佳市

【東北大学附属図書館工学分館】

電話番号 (022) 795-5892・5894
FAX番号 (022) 795-7120
分館長 (併)教授 阿曾弘具
事務責任者 図書館専門員 佐々木勝義

【東北大学附属図書館農学分館】

電話番号 (022) 717-8882
FAX番号 (022) 274-2127
分館長 (併)教授 池上正人

事務責任者 図書係長 大原正一

【宮城教育大学附属図書館】

電話番号 (022) 214-3347
FAX番号 (022) 214-3351
館長 (併)教授 青木守弘
事務責任者 図書館主幹 齋藤茂

【秋田大学附属図書館】

電話番号 (018) 889-2273
FAX番号 (018) 832-4917
館長 (併)教授 渡會二郎
事務責任者 事務長 伊藤重範

【秋田大学附属図書館医学部分館】

電話番号 (018) 884-6052
FAX番号 (018) 884-6252
分館長 (併)教授 杉山俊博
事務責任者 一般職員 原智子

【山形大学附属図書館】

電話番号 (023) 628-4904
FAX番号 (023) 628-4909
館長 (併)教授 芦立一郎
事務責任者 学術情報部長 友光健二

【山形大学附属図書館医学部分館】

電話番号 (023) 628-5054
FAX番号 (023) 628-5059
分館長 (併)教授 青柳優
事務責任者 係長 鈴木みち子

【山形大学附属図書館工学部分館】

電話番号 (0238) 26-3019
FAX番号 (0238) 26-3408
分館長 (併)教授 横山晶一
事務責任者 チームリーダー 石山博子

【山形大学附属図書館農学部分館】

電話番号 (0235) 28-2810
FAX番号 (0235) 28-2815
分 館 長 (併)教 授 高 橋 教 夫
事 務 責 任 者 チームリーダー 青 野 康 雄

【福島大学附属図書館】

電話番号 (024) 548-8083
FAX番号 (024) 548-2377
館 長 (併)教 授 小 津 喜 仁
事 務 責 任 者 学術情報グループリーダー 鈴 木 三 男

【青森公立大学図書館】

電話番号 (017) 764-1552
FAX番号 (017) 764-1591
館 長 佐 藤 和 弘
事 務 責 任 者 主 幹 斎 藤 仁

【青森県立保健大学附属図書館】

電話番号 (017) 765-2011
FAX番号 (017) 765-2012
館 長 (併)教 授 大和田 猛
事 務 責 任 者 主 査 小 野 由 美

【岩手県立大学メディアセンター】

電話番号 (019) 694-2070
FAX番号 (019) 694-2071
メディアセンター長 (併)教 授 細 江 達 郎
事 務 責 任 者 図書グループリーダー 福 田 隆

【宮城大学総合情報センター】

電話番号 (022) 377-8313
FAX番号 (022) 377-8383
セ ン タ ー 長 (併)教 授 久 恒 啓 一
(大和キャンパス図書館)
事 務 責 任 者 次 長 安 部 正 則
(太白キャンパス図書館)
電話番号 (022) 245-1043・1046
FAX番号 (022) 245-2214
事 務 責 任 者 総務企画班長 鈴 木 晴 夫

【秋田県立大学図書・情報センター】

電話番号 (018) 872-1561
FAX番号 (018) 872-1674
図書情報センター長 (併)教 授 森 宏 一
事 務 責 任 者 総括リーダー 佐 藤 稔

【秋田公立美術工芸短期大学附属図書館】

電話番号 (018) 888-8106
FAX番号 (018) 888-8107
館 長 (併)教 授 松 本 研 一
事 務 責 任 者 主 査 佐 藤 咲 子

【国際教養大学図書・情報センター】

電話番号 (018) 886-5907
FAX番号 (018) 886-5912
図書・情報センター長 (併)教 授 勝 又 美智雄
事 務 責 任 者 チームリーダー 勝 浦 栄 子

【山形県立保健医療大学附属図書館】

電話番号 (023) 686-6671
FAX番号 (023) 686-6679
館 長 (併)教 授 山 下 隆 夫
事 務 責 任 者 図書館管理専門員 奈良崎 健 雄

【山形県立米沢女子短期大学附属図書館】

電話番号 (0238) 22-7334
FAX番号 (0238) 24-7998
館 長 嶋 崎 伸 一
事 務 責 任 者 図書館管理専門員 松 浦 恒 三

【会津大学情報センター附属図書館】

電話番号 (0242) 37-2545
FAX番号 (0242) 37-2554
情報センター長 魏 大 名
事 務 責 任 者 情報センター主幹兼事務長 菊 地 秀 明

【会津大学短期大学部附属図書館】

電話番号 (0242) 37-2458
FAX番号 (0242) 37-2412
館 長 教 授 安 江 俊 二
事 務 責 任 者 主 査 桑 原 義 博

【福島県立医科大学附属学術情報センター】

電話番号 (024) 547-1111 (代)

FAX番号 (024) 547-1996

センター長 平 岩 幸 一
事務責任者 参 事 鈴 木 賢 司

【青森大学・青森短期大学附属図書館】

電話番号 (017) 738-2001 (内) 441本館・401新館

FAX番号 (017) 738-0143 (教務)

(017) 738-2034 (短大)

館 長 (併)教 授 菅 勝 彦
事務責任者 主 任 下 山 修 司

【東北女子大学附属図書館】

電話番号 (0172) 33-2289

FAX番号 (0172) 33-2486

館 長 (併)教 授 逸 見 五 郎

【八戸大学・八戸短期大学図書館】

電話番号 (0178) 30-1695

FAX番号 (0178) 30-1737

館 長 (併)教 授 畑 山 俊 輝
事務責任者 事務室長 司 書 小 松 良 重

【八戸工業大学図書館】

電話番号 (0178) 25-8032

FAX番号 (0178) 25-8887

館 長 (併)教 授 関 秀 廣
事務責任者 事務長 小 西 孝 則

【弘前学院大学附属図書館】

電話番号 (0172) 34-5211

FAX番号 (0172) 38-4071

館 長 (併)教 授 森 田 喜 郎
事務責任者 図書館室長 藤 田 祥

【岩手医科大学附属図書館】

電話番号 (019) 651-5111

FAX番号 (019) 625-8030

館 長 (併)教 授 米 満 正 美
分 館 長 (併)教 授 上 原 至 雅
事務責任者 事務室長 藤 原 伸 一

【富士大学図書館】

電話番号 (0198) 22-4986

FAX番号 (0198) 23-5818

館 長 (併)教 授 牧 野 博
事務責任者 (併)広報役司書 井 手 俊 一

【盛岡大学図書館】

電話番号 (019) 688-5561

FAX番号 (019) 694-1048

館 長 (併)教 授 高 橋 俊 和
事務責任者 事務室長 司書 八 木 融 子

【修紅短期大学図書館】

電話番号 (0191) 24-2211

FAX番号 (0191) 24-2213

館 長 (併)教 授 (6/1付)小 室 彰
事務責任者 司書補 小 林 薫 子

【岩手看護短期大学図書館】

電話番号 (019) 687-3864

FAX番号 (019) 687-3894

館 長 小 川 英 行
事務責任者 司 書 三 田 弥 生

【仙台大学附属図書館】

電話番号 (0224) 55-1399

FAX番号 (0224) 57-2062

館 長 (併)教 授 阿 部 武 彦
事務責任者 課 長 川 村 隆

【仙台白百合女子大学図書館】

電話番号 (022) 374-5090

FAX番号 (022) 374-4577

館 長 (併)教 授 大 本 泉
事務責任者 事務長 生 出 登

【石巻専修大学図書館】

電話番号 (0225) 22-7718

FAX番号 (0225) 94-7875

館 長 (併)教 授 高 木 富士夫
事務責任者 学務課長 石 川 栄 一

【東北学院大学中央図書館】

電話番号 (022) 264-6491
FAX番号 (022) 264-6490
館長 (併)教授 佐藤 司郎
事務責任者 図書情報課長 三浦 陸

【東北学院大学多賀城キャンパス図書館】

電話番号 (022) 368-1206
FAX番号 (022) 368-0777
分館長 (併)教授 星 善元
事務責任者 課長補佐 高橋 富士男

【東北学院大学泉キャンパス図書館】

電話番号 (022) 375-1174
FAX番号 (022) 375-2121
分館長 (併)教授 石川 文康
事務責任者 課長補佐 早坂 孝司

【東北工業大学附属図書館】

電話番号 (022) 305-3177 ~ 79
FAX番号 (022) 305-3180
館長 (併)教授 樋口 龍雄
事務責任者 事務長 早坂 のり子

【東北福祉大学図書館】

電話番号 (022) 717-3319
FAX番号 (022) 717-3339
館長 (併)教授 高橋 美由紀
事務責任者 課長 石田 信孝

【東北文化学園大学総合情報センター図書館】

電話番号 (022) 233-3878
FAX番号 (022) 233-9453
館長 学長補佐図書・情報管理担当 江村 超
事務責任者 法人事務局長 山本 嘉人

【東北薬科大学附属図書館】

電話番号 (022) 727-0061
FAX番号 (022) 273-5255
館長 (併)教授 水柿 道直
事務責任者 事務部長 高橋 誠一

【宮城学院女子大学図書館】

電話番号 (022) 279-5658
FAX番号 (022) 279-6077
館長 (併)教授 犬飼 公之
事務責任者 大学事務部長補佐 大坂 田茂子

【尚絅学院大学図書館】

電話番号 (022) 381-3439 ~ 3440
FAX番号 (022) 381-3411
館長 (併)教授 阿留多伎 真人
事務責任者 図書課長 木村 久美子

【聖和学園短期大学図書館】

電話番号 (022) 376-8257
FAX番号 (022) 376-3155
館長 (併)教授 片岡 彰
事務責任者 司書 安田 明華

【ノースアジア大学附属図書館】

電話番号 (018) 836-2405
FAX番号 (018) 836-4402
館長
事務責任者 図書館課長 山上 昭子

【東北芸術工科大学図書館】

電話番号 (023) 627-2044
FAX番号 (023) 627-2085
館長 教授 西村 宣起
事務責任者 事務長 加藤 芳彦

【羽陽学園短期大学附属図書館】

電話番号 (023) 655-2385
FAX番号 (023) 655-2844
館長 (併)教授 田中 ふみ子
事務責任者 図書係長 林 和子

【山形短期大学附属図書館】

電話番号 (023) 688-7544
FAX番号 (023) 688-6438
館長 (併)准教授 伊藤 弘昭
事務責任者 課長 高橋 節子

【いわき明星大学図書館】

電話番号 (0246) 29 - 7121

FAX番号 (0246) 29 - 5001

館 長 (併)教 授 清 水 信 行
事務責任者 グループ長 吉 田 裕 樹

【奥羽大学図書館】

電話番号 (024) 932 - 8931

FAX番号 (024) 932 - 8944

館 長 安 藤 勝
事務責任者 事務長 増 子 弘 信

【郡山女子大学図書館】

電話番号 (024) 932 - 4848

FAX番号 (024) 924 - 1394

館 長 副学長 教授 山 田 幸 二
副 学 長 教 授 二 宮 和比古
事務責任者 非常勤講師図書係長 和 知 剛

【昌平図書館(東日本国際大学・いわき短期大学)】

電話番号 (0246) 35 - 0416

FAX番号 (0246) 25 - 9188

館 長 下 野 博 司

【日本大学工学部図書館】

電話番号 (024) 956 - 8876

FAX番号 (024) 956 - 8869

館 長 情報工学科教授 白 井 健 二
事務責任者 図書館事務課長 今 津 正 人

【桜の聖母短期大学図書館情報センター】

電話番号 (024) 534 - 7137

FAX番号 (024) 531 - 2320

館 長 教 授 ウィリアム・スタインマン
事務責任者 書 津 田 文 子

【福島学院大学図書館情報センター】

電話番号 (024) 553 - 2087

FAX番号 (024) 553 - 8253

館 長 片 山 邦 子
事務責任者 業務課長 呂 学 如

Empowered by Innovation

NEC

NECがおすすめする Windows Vista™ Business

PCとディスプレイをスリムに一体化、
NECなら美しさとセキュリティもひとつに。

デザインが美しい、セキュリティが頼もしい、液晶一体型 NECのスタイリッシュPC。



指紋センサなど、あらゆる側面からデータを守るセキュリティ機能搭載

部外者による
“なりすまし”を防ぐ!
選べる指紋センサ付きキーボード

出入口からの
データ漏出を防ぐ!

ウイルス感染を防ぐ!

I/Oポート&
各種デバイスごとの使用制限
Device Protector

OS起動前にウイルス
バージョンファイルを更新する
Always アップデートエージェント



キレイ 洗練されたデザイン

- オフィスはもちろん
受付・窓口業務にも映えるデザイン

スッキリ 便利な省スペース

- ワークスペースを有効的に活用
・キーボードもすっきり収納

ラクラク 多様な使いやすさ

- 配線が少ないので、レイアウト変更も手軽
・PCとディスプレイが一体なので、
資産管理もカンタン

インテル® Core™2 Duo プロセッサー搭載

Mate タイプMF(液晶一体型)

[MY18R/FE-3]

・インテル® Core™2 Duo プロセッサー E4300 (1.80GHz、2次キャッシュ 2MB)

・Windows Vista™ Business 正規版・17型TFT (SXGA)

NECはPC国内シェアNo.1*

*2006年(1月~12月)国内市場、出荷台数のシェア
出典: IDC Japan, Japan PC Quarterly Model Analysis Q4 2006

NECのビジネスPC
Mate & VersaPro



デュアルコアで。
もっと。

あなたの可能性
インテル、はいってる

本件の
お問い合わせは

NEC東北支社 / TEL: 022(267)8760 NEC青森支店 / TEL: 017(776)9191
NEC岩手支店 / TEL: 019(651)4344 NEC秋田支店 / TEL: 018(863)3773
NEC山形支店 / TEL: 023(623)5511 NEC福島支店 / TEL: 024(521)5511
NEC郡山支店 / TEL: 024(923)5511

●本パーソナルコンピュータは、オペレーティングシステムを標準搭載しています。●Intel、インテル、Intelロゴ、Intel Inside、Intel Insideロゴ、Intel Core、Core Insideは、アメリカ合衆国及び他の国におけるインテルコーポレーションまたは、その子会社の商標または登録商標です。●Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。●Windows Vista™の正式名称は、Microsoft® Windows Vista™です。●本広告に記載されている会社名、商品名は一般に各社の商標または登録商標です。

丸善の大学図書館業務アウトソーシング

弊社は図書館運営の目的を『利用者価値創造』に求め、品質維持・向上と効率性の高い運営受託を目指しております。

閲覧業務（カウンター、レファレンス、ILL／文献複写各業務）、選書・発注業務、目録作成業務や庶務業務、システム運用などの各種図書館業務対応に、また、開館時間の延長（夜間対応）や休日開館対応等、多数のお客様からの受託実績と経験を活かして、お客様のニーズに即した最適な図書館運営と利用者サービスをご提供致します。

教育・研修支援が充実

接客、個人情報保護関連等の基本研修の他、求められる専門知識やスキルの習得研修が充実。

提供業務品質の維持・向上

巡回スタッフによる業務検証や目標チャレンジシートの利用により、受託業務の品質の維持・向上に努めます。

電子ジャーナル、各種データベース対応

弊社内e-サポートセンター等関連部署が全面的にバップアップ致します。

利用者サービスの向上

利用者に快適に図書館をご利用いただくため、様々なご支援・ご提案を行ないます。また、オリエンテーション、各種ガイダンスの企画立案・実施など、利用者教育・情報リテラシー教育のお手伝いを致します。

庶務業務

庶務業務

各種伝票処理、館内管理、書類の整理、備品の管理のほか各種助成金申請ご支援等も行ないます。

各種統計業務

各種調査・統計・資料等の作成及び外部機関(文科省、日本図書館協会等)の調査紹介に対する資料作成を行ないます。

システム運用

コンピュータ・システム関連、電子ジャーナル、データベース登録、ホームページの運用等を行ないます。

選書・発注業務

書店、出版社からの出版情報を収集し、図書・雑誌・ビデオ資料の選書・発注業務を行ないます。

受入業務

資料の検品、寄贈資料の受付・重複チェック、登録番号付与、図書原簿作成等資料の受入・登録を行ないます。

整理業務

請求記号決定、各種装備作業、製本(雑誌)を行ないます(目録データについては原則として発注時に作成)。

書架整備

誤配架、書架乱れ修正、破損、汚損、ID剥れ、書架送り修正、見出し作成等を行ないます。

図書・雑誌管理

レファレンス業務

各種利用案内・調査依頼への対応等閲覧管理、レファレンス業務を行ないます。

ILL・文献複写業務

他大学図書館などとの相互協力、NACSIS-ILL、Fax、電話、メール等によるILL、文献複写依頼・受付・調査を行ないます。

参考・閲覧・

カウンター業務

購入希望受付、館内利用案内、貸出・返却業務、保存書庫、グループ学習室等各種利用受付を行ないます。

参考・閲覧・

カウンター業務

カウンター業務

【丸善株式会社 教育・学術事業本部 ソリューションセンター ソリューション営業部】



ESTABLISHED IN 1869

■ 〒103-8244 東京都中央区日本橋 3-9-2 第二丸善ビル 4F

■ TEL: (03)3273-3572 FAX: (03)3272-0472 E-mail: EL@maruzen.co.jp

書物精選 キノコレ!

紀伊國屋書店 和書新刊 自動配本サービス

KINOKUNIYA BOOKS COLLECTION FOR ACADEMIC LIBRARIES



1 どのようなサービス?

図書館様の収書方針に合致する新刊学術書を刊行の都度自動的にお届けいたします。

まず、図書館様に配本対象出版社をお選びいただきか、分野等の収書方針を
インタビューさせていただいたうえで配本内容を決定してから、実際の配本を開始致します。

お届けする本はすべて「見計らい」です。基本的に返品はお受け致しますが、ご購入状況を見ながら
隨時配本出版社の増減や入れ替えを実施することによって配本内容を調整させていただき、
ご購入決定率の向上を目指してまいります。

2 配本対象となる“学術書”とは?

学部生・大学院生・研究者の方々を対象として出版される

単行本を対象としております。ただし、配本から除外するものがありますので、
詳細はお問い合わせ下さい。



3 必要な予算規模は?

出版社ごとに、月間または年間の総配本冊数・金額の目安をご用意いたします。

出版社ごとの刊行点数はそれほど急激には変動しないものですので、費用積算の参考としてください。

4 PLATONによる管理が可能です

弊社のASP型収書管理システムPLATONの機能限定版“K-PLATON”を無償でご提供いたします。

配本状況のチェックやご購入決定・返品といった管理がシステム的に可能になります。



K-PLATON の主な管理機能

新刊配本の一覧表示

キノコレ!
購入予算の
残高確認

検収・
請求指示

重複調査
データ出力

一括納品
/受入処理

BOOKS
KINOKUNIYA 紀伊國屋書店

お問い合わせは

紀伊國屋書店 和書部 学術書プロモーションセンター

〒213-8506 川崎市高津区久本3-5-7 新溝ノ口ビル2階 TEL.044-874-9644 FAX.044-829-1027 E-mail : gakujutu-p@kinokuniya.co.jp

FUJIFILM

f-standard
フィルム・デジタル共存時代へ。

シンプル&スマートに
マイクロフィルムを活用

デジタルイメージプリンター

FDIP 7500II

先進デジタル技術がもたらす、
高画質と多機能。
さらに拡張性も向上。

- デジタル技術で写真・文字・細線も鮮明。
- ファーストプリント13秒以下。
- 前面集中パネルで簡単操作。
- 多彩なプリント機能と画像編集機能。
- 省スペース、イージーメンテナンス。
- PC接続でマイクロフィルムスキャナーに。



コンパクトボディにカンタン操作、快適・快速なデジタルイメージプリンター

デジタルイメージプリンター

FDIP 5500II

- 最大A3サイズまで、プリントサイズやタテ・ヨコが自由
- 最高600dpiの解像度で、高画質スキャン＆プリント
- 1%刻み、50~200%までカバーするデジタルズーム
- センタリング／フルフレーム、傾き補正なども自動
- PCとの接続で、マイクロフィルムスキャナーに

富士フィルム株式会社 <http://fujifilm.jp/im>

■産業機材部
〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3 TEL (03) 6271-3000

図書館製本80年『ナカバヤシ』の 図書館サポート

各種資料
媒体変換

各種資料のデジタル化へのトータルサポート

- デジタル画像作成（保存用、Web公開用）
- 検索項目入力（テキスト、XML形式等に対応）

製 本

創業80年の伝統を守る『品質と技術力』

- 雑誌合冊製本
- 図書修理製本
- 古書修理製本
- 行政文書製本
- 新聞製本
- その他あらゆる製本



資料保存

歴史的史料の修復・保存・媒体変換をトータルで提案

修 復

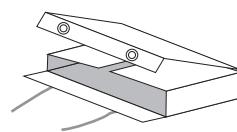
- 古文書、行政文書修復
- 裏打ち
- 脱酸性化
- リーフキャスティング
- 軸装、額装
- 革製本修復

保 存

- アーカイバルBOX（中性紙保存箱、封筒、ホルダー等）
- 帙、たとう
- 桐箱
- 書籍燻蒸、カビ除去

媒体変換

- マイクロフィルム
- デジタル画像作成



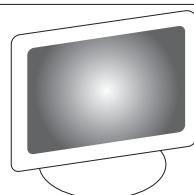
業務請負

アウトソーシング、運用サポート

- 新着図書受入、装備請負
- 雑誌受入、製本準備
- 図書、雑誌週及入力
- 書籍移動
- タトルテープ、ラベル貼付請負
- 各種データ入力

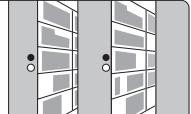
図書館
システム

- 図書館管理システムの販売
- BDS、ABC、入退館システムの販売
- 高速検索システム（SAVVY）の販売



図書館用品

- スチール、木製書架
- 電動式、手動式移動書架
- バーコードラベル印刷



ナカバヤシ株式会社 <http://www.nakabayashi.co.jp/>

お問い合わせは、下記まで

東京支社 〒174-8602 東京都板橋区東坂下2丁目5-1 03 (3558) 1251 大阪支社 〒536-0005 大阪市城東区中央2丁目1-23 06 (6930) 6668
名古屋支店 〒456-0053 名古屋市熱田区一番2丁目2-6 052 (661) 3771 福岡支店 〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭5丁目7-11 092 (641) 3661

札幌営業所 011 (616) 7884 仙台営業所 022 (284) 3045 横浜営業所 045 (952) 0501
水戸営業所 029 (254) 1534 広島営業所 082 (294) 8306 静岡出張所 054 (238) 0255
金沢出張所 076 (268) 5830 高松出張所 087 (831) 5825



導入成果の確かさでご好評をいただいています

オートライブの最大の特徴は、膨大な図書・資料を効率的に保管し
合理的な検索・出納システムによって利用者が求めた情報を迅速に、的確に提供できることです。
出入庫の速さとともに、図書のサイズ別フリーロケーションとダブルコンテナ格納方式の
採用により高密度保管と高速出納を両立させました。



■受注実績 **29件**

(平成19年3月現在)

■大学納入実績

国際基督教大学 ミルドレッドトップスマート図書館
青山学院大学 相模原キャンパス
大東文化大学 板橋キャンパス
立命館大学 BKCメディアセンター
九州大学附属図書館 筑紫分館
東京大学 柏図書館
明星大学 日野キャンパス

オートライブの特長

- ▶ 保管密度が極めて高く、大きなスペースセービング効果が得られます。
- ▶ 返却作業及びカウンター業務が軽減されます。
- ▶ すべての自動化により、大幅な省力効果が得られます。
- ▶ 簡単な操作で、的確・スピーディな利用者サービスが実現します。
- ▶ コンピュータによる蔵書点検など管理レベルが飛躍的に向上します。

Auto Lib.
自動化書庫・オートライブ

よりよい保管システムを提供する
日本ファイリング

日本ファイリング株式会社
本社／〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2（新御茶ノ水アーバンビル）
支店／大阪・名古屋 営業所／札幌・仙台・大宮・横浜・広島・福岡

ISO14001
ISO9001
認証取得企業

資料請求・お問い合わせは ▶ <http://www.nipponfiling.co.jp> ☎ 0120-808-977 電話受付／月～金(土・日・祝日を除く) 9:00～17:00

無料

トライアル
実施中!!

雄松堂書店 オンラインデータベース

Eighteenth Century Collections Online

18世紀英語・英国刊行物データベース

18世紀刊行の英語・英語文献3300万頁をフルテキスト検索!

◆英語圏の全印刷物を網羅、あらゆる
分野・形態のものを収録

21世紀の我々がインターネットで様々な情報を引き出せるよう、18世紀の情報もパソコンで自在に検索できたら。

18世紀の英語圏刊行物15万点を完全収録し、全文検索を可能にするEighteenth Century Collections Online (ECCO) は、「18世紀のインターネット」とは言えないまでも、それに限りなく近い環境を研究者や学生に提供する画期的なオンライン商品です。ジョンソン、ロック、スウィフト、ケンペル、ギボン、その他無数の文筆家たちが遺した3300万頁にのぼる出版物の一語一句まで、お手元のパソコンで探し当て、原書どおりの画像を閲覧することができます。ECCOの提供する驚異的な検索・閲覧環境をぜひご体感ください。

検索サイトに「雄松堂 ECCO」で検索下さい。詳細ページにアクセスできます。



The Making Of the Modern World

社会科学系学術図書データベース

The Goldsmiths'-Kress Library of Economic Literature 1460-1850

「ゴールドスマス・クレス」が、オンラインで閲覧可能に。

◆「近代」のルーツを探る、世界最高の
社会経済史コレクション

本データベースは15世紀半ばから1850年までの経済史・経営史・社会思想史を中心とする社会科学関係の書籍61,000点、および同年代に創刊された定期刊行物466点を収録し、フルテキスト検索を可能にする一大データベースです。収録資料は社会科学系の歴史的コレクションとして望みうる最高のものであると言われているロンドン大学ゴールドスマス文庫とハーバード大学経営大学院クレス文庫の蔵書を原本としており、社会科学全域をカバーした1200万ページにもおよぶ資料の検索は研究に貴重な資料を供給します。

検索サイトに「雄松堂 MOMW」で検索下さい。

詳細ページにアクセスできます。

価格等詳細は小社営業部までお問い合わせ下さい。

THOMSON
GALE



株式会社 雄松堂書店

-日本総販売代理店- <http://www.yushodo.co.jp>

〒160-0008 東京都新宿区三栄町29 Tel 03-3357-1411 (代) Fax 03-3356-8730 E-mail: sales@yushodo.co.jp

東北地区大学図書館協議会誌 第 58 号

平成 19 年 4 月

発 行 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学附属図書館内
東北地区大学図書館協議会
☎ (022) 795-5910

編 集 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学附属図書館
